

栗原市子供読書活動推進計画

令和4年8月

栗原市教育委員会

目次

第1章	計画策定の趣旨と位置づけ	1 頁
1	計画策定の趣旨	
2	計画の位置づけ	
3	計画の対象	
4	計画の期間	
第2章	子供の読書環境の現状と課題	3 頁
1	小学生・中学生の傾向	
2	保護者の傾向	
3	保育所・幼稚園・放課後児童クラブの傾向	
4	学校の傾向	
第3章	計画の目標と目標達成のための指標の設定	9 頁
1	計画の基本的な考え方	
2	計画の目標	
3	目標達成のための指標の設定	
第4章	計画の推進方針と体系	15 頁
1	計画の推進方針	
2	計画の体系	
第5章	計画推進のための取組	18 頁
1	家庭における子供の読書活動の推進	
2	学校や児童福祉施設等における子供の読書活動の推進	
3	地域における子供の読書活動の推進	
4	関係機関の連携・協力による子供の読書活動の推進	
資料編		
資料1	子どもの読書活動の推進に関する法律	21 頁
資料2	学校図書館法	23 頁
資料3	子どもの読書活動に関するアンケート調査結果	25 頁
	集計結果【(1)児童・生徒用】	26 頁
	集計結果【(2)保護者用】	31 頁
	集計結果【(3)施設用：保育所・幼稚園・放課後児童クラブ】	37 頁
	集計結果【(3)施設用：小学校・中学校】	41 頁
	集計結果【(4)ブックスタート・セカンドブック用】	45 頁

第1章 計画策定の趣旨と位置づけ

1 計画策定の趣旨

子供の読書活動は、子供が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

子供は、読書を通じて、読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。

また、文学作品に加え、自然科学・社会科学関係の書籍や新聞、図鑑等の資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる探求心や真理を求める態度が培われます。

近年、スマートフォンやパソコンをはじめとする情報通信技術(ICT:Information and Communication Technology)の進展と普及がめざましく、文部科学省においても、Society5.0(※)時代を生きるすべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するためのICTを利用した新しい学習形態の取組を始めたところです。その一方で、ゲームやインターネット、SNS(Social Networking Service)を利用する時間の増加に伴う家庭での学習時間の減少や斜視・弱視への影響など、環境の変化による子供の「読書離れ」が懸念されています。

現在、子供の健やかな成長のため、家庭、学校、地域をはじめとした社会全体で子供の読書活動を推進していくことが求められています。

このような状況において、国では平成13年から「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、国と地方自治体の責務の明確化、事業者の努力事項と保護者の役割が条文化され、平成30年には、発達段階に応じた取組による読書習慣の形成、友人同士で行う活動を通じた読書への関心を高めることを主眼としたに第四次「子供の読書活動推進に関する基本的な計画」が策定されました。

宮城県では、平成31年に「第四次みやぎ子供読書活動推進計画」を策定し、『自主的な読書活動を通じて、夢と高い志を持ち、心豊かでたくましく生き抜く力を身に付けること』を目指して、子供の読書活動推進の取組が行われているところです。

この度、栗原市においても、関連するこれらの計画等を踏まえながら、子供の読書活動の一層の推進を図ることを目的に、「栗原市子供読書活動推進計画」を策定することといたしました。

(※)Society5.0とは、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会のことを言い、狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続いて、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。

2 計画の位置づけ

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)及び第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的計画」(平成30年4月20日閣議決定)、「第四次みやぎ子供読書活動推進計画」(平成31年4月策定)を踏まえて、「第2次栗原市総合計画」(平成29年9月策定)及び「栗原市教育等の振興に関する施策の大綱」(令和4年1月策定)に基づき、栗原市における読書活動推進に関する基本的方針や取り組むべき施策の方向性を示す計画として策定するものです。

3 計画の対象

この計画は、乳幼児期からおおむね15歳までの子供を対象とします。

4 計画の期間

この計画は、令和4年度を初年度とし、令和8年度を目標年度とする、5年間の計画とします。

ただし、計画期間中であっても、子供の読書環境や社会状況の変化、国や宮城県の推進計画の動向などを踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

[計画のスケジュール]

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
栗原市子供読書活動推進計画					
みやぎ子供読書活動推進計画					

第2章 子供の読書環境の現状と課題

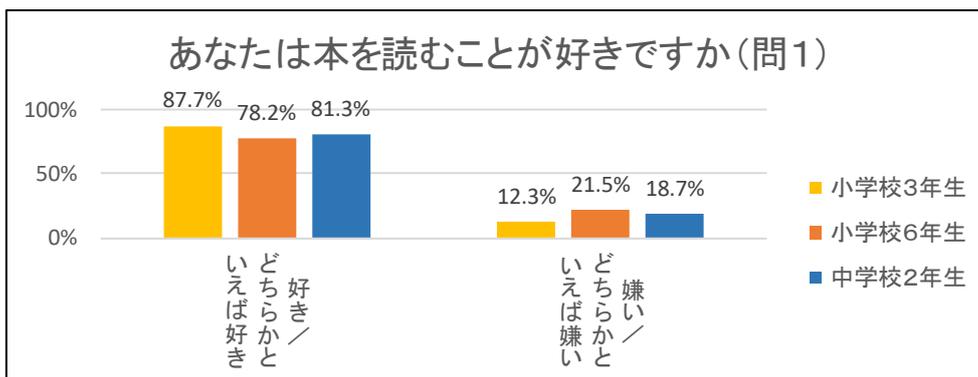
この計画の策定にあたり、栗原市の現状把握とその要因を整理することを目的として、「子どもの読書活動に関するアンケート」（以下「アンケート調査」という）を令和3年9月に実施いたしました。（内容については、巻末「資料3」のとおり。）

今回実施したアンケート調査の結果をもとに、子供の読書環境の現状と課題を考えるものとします。

1 小学生・中学生の傾向

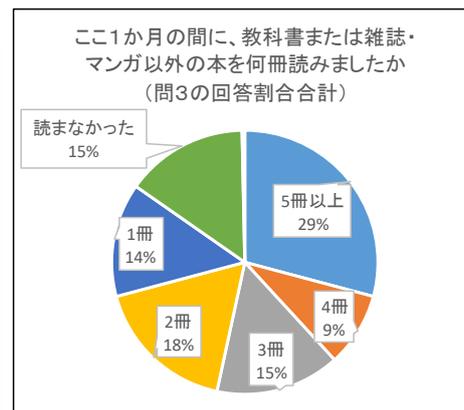
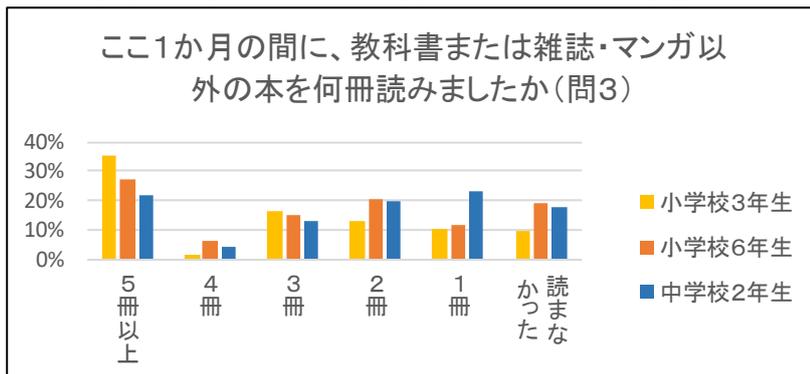
- ① 「本を読むことが好き（どちらかといえば好きを含む）」の割合は、小学生では高学年になると減少する傾向にありますが、その後、中学生の段階で増加となっております。

このことから、絵本から児童書、それから一般書へ成長していく過程において、どのような本を読むことで本の楽しさが伝えられるか、良い本を手渡していくことができるかとともに、読書をする時間の確保など環境づくりをどのようにしていくかなどが課題です。



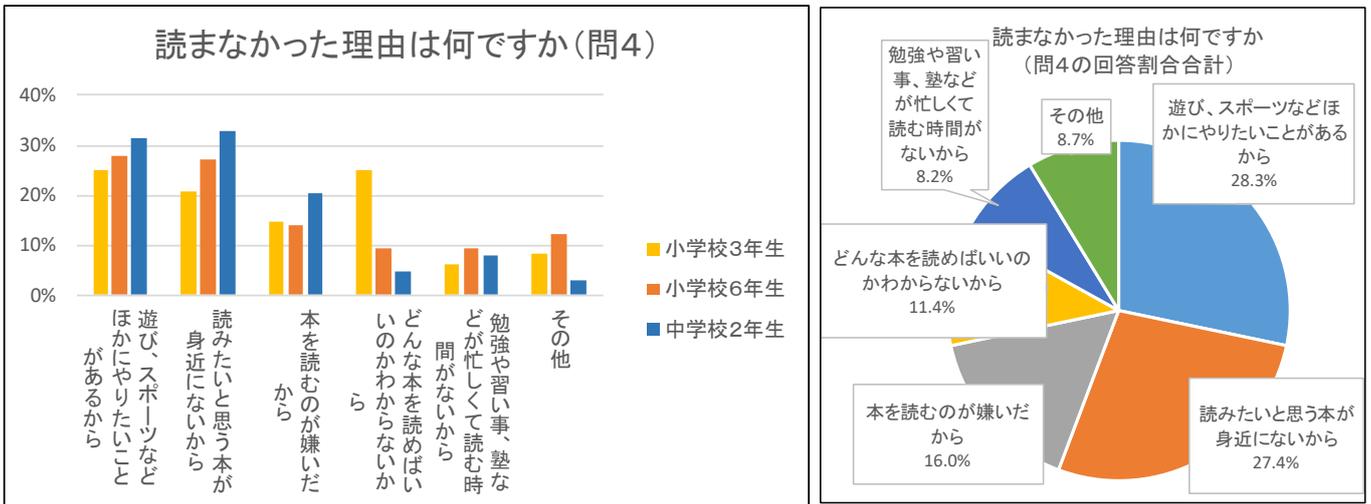
- ② アンケート調査では、1か月に読む本の冊数は学年が上がるにつれて減ってきており、1か月間で1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合が15パーセントとなっております。また、学年が上がるにつれて、読まなかった割合が高くなってきています。

このことから、読まなかった児童・生徒に対しては、時間確保以外の部分において、どうしたら読書に向かうことができるか、読書に興味を持つことができるか、大人たちの働きかけや学校図書館や市立図書館などにおける児童・生徒のニーズを捉えた図書の実態を考えると課題となっております。



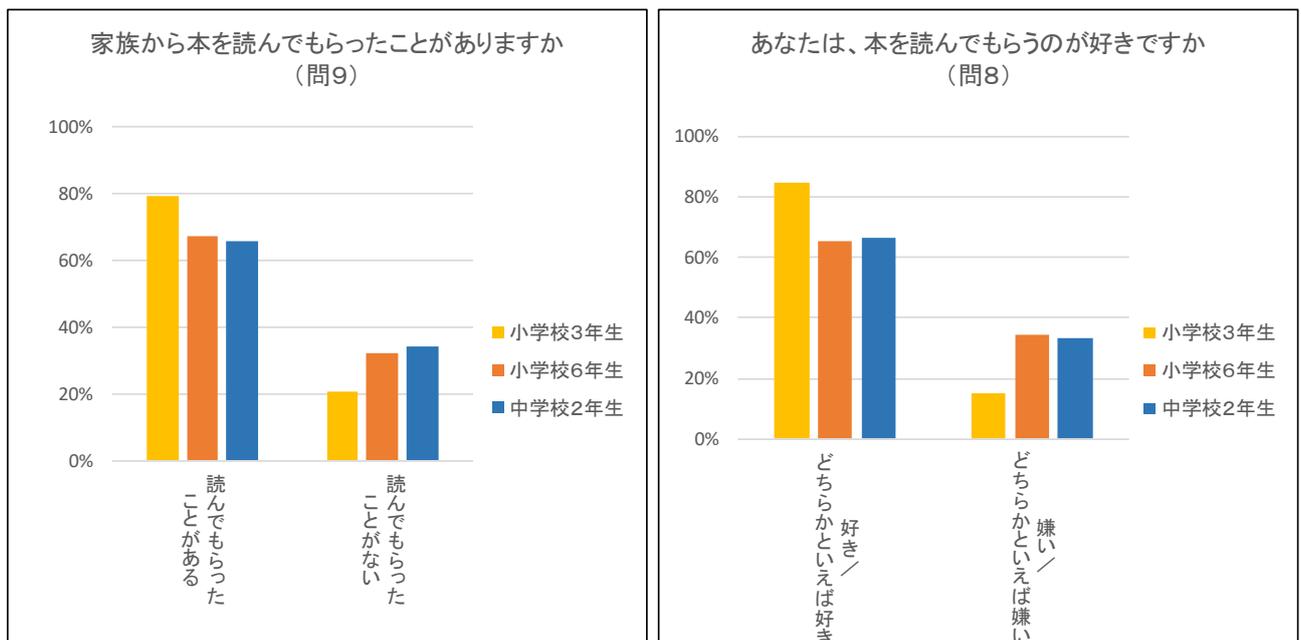
③ 読まなかった理由については、「読みたいと思う本が身近にないから」が27.4パーセントと高くなっています。さらに、学年が上がるにつれて同回答の割合が高くなっているため、読書に対する興味・関心が薄れていたり、苦手意識を持っていることが考えられます。

このことから、“本は楽しい”“読んでみたい”と思えるような本を手渡すことや、大人が自ら読書を楽しむ姿勢を見せることで読書の楽しさを伝えることが望まれます。



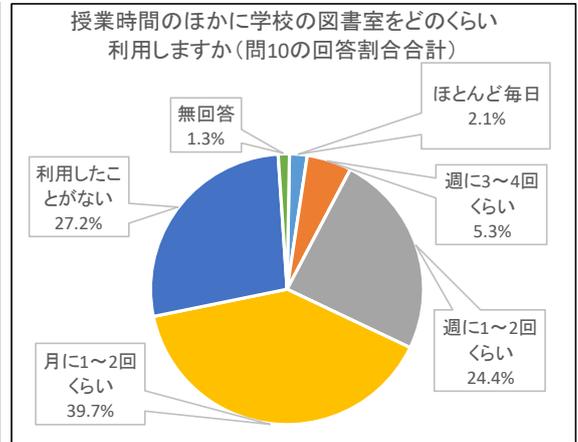
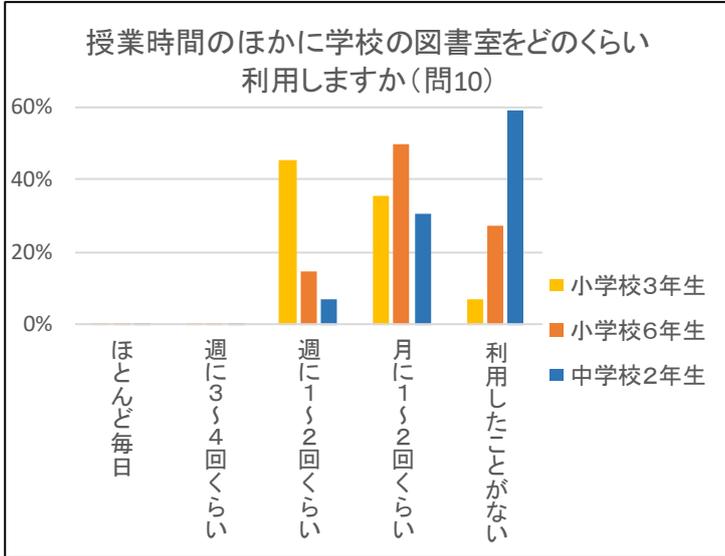
④ 「いままでに家族から本を読んでもらったことがある」の割合と、「本を読んでもらうのが好き」、または「どちらかといえば好き」の割合がほぼ同じであり、学年が上がるにつれてその割合が低くなっています。

このことから、自分で文章を読むことができない幼児期に、耳からお話を聞き楽しむ読書は、その後の一人読みのための大切な体験であると考えられますので、ブックスタート事業やセカンドブック事業など、子供たちのためにお話を楽しむ機会を増やしていく必要があります。



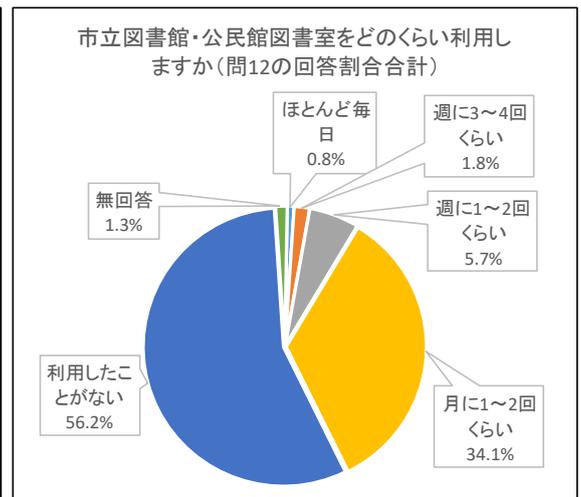
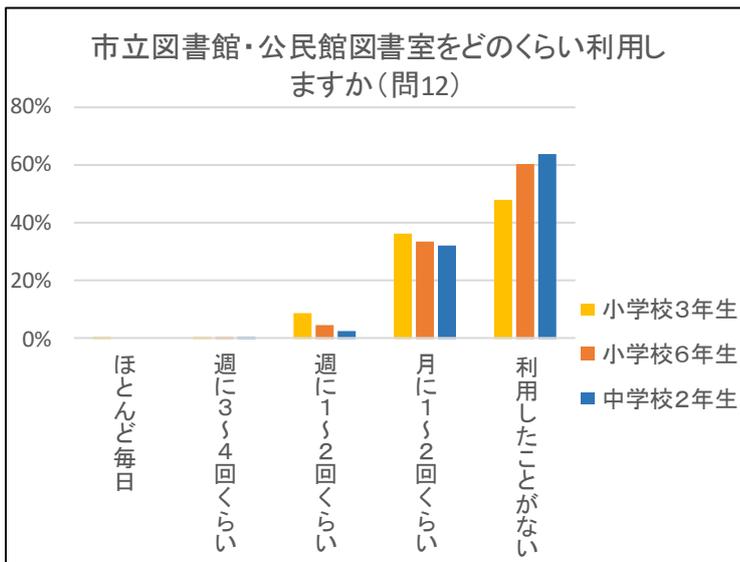
⑤ 学校の図書室の利用については、約4人に1人が「利用したことがない」と回答しています。また、その割合は、学年が上がるにつれて高くなっています。

このことから、学校の図書室を、児童・生徒にとって読書指導や調べ学習などで利用することができる毎日の学習を補完する場所にしていく必要があります。



⑥ 市立図書館や公民館図書室の利用について、「利用したことがない」の割合が56.2パーセントと高くなっており、その理由として、「本屋さんで買うことが多い」、「図書館が遠い」、「時間がない」といった回答が多く見受けられ、市立図書館や公民館図書室は“気軽に利用できる身近な場所”ではないといえます。

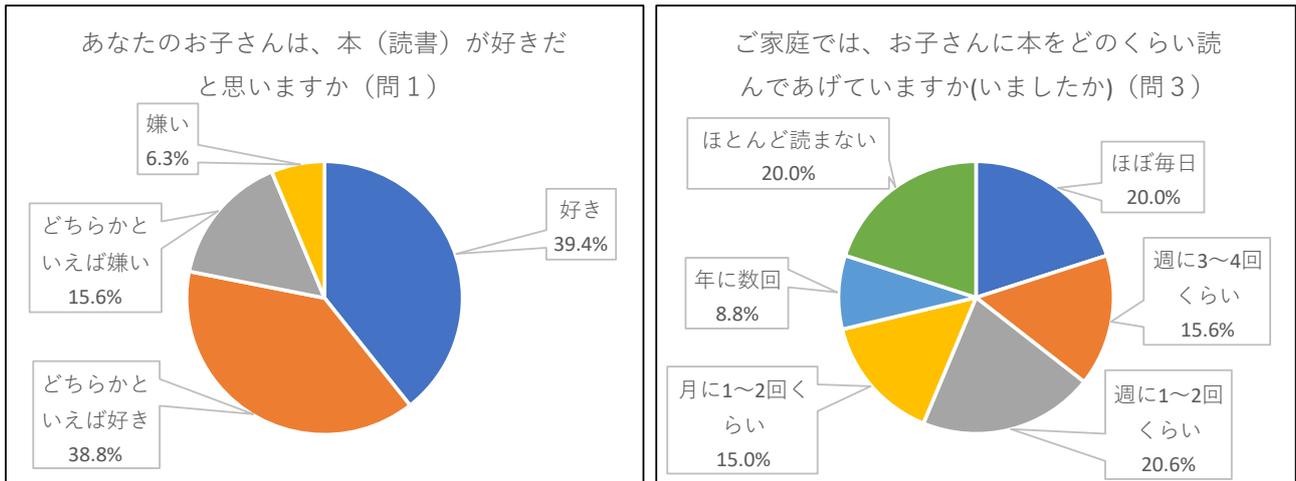
このことから、市立図書館や公民館図書室を利用するためには保護者の協力が必要であり、そのためには、保護者の市立図書館・公民館図書室利用に対する関心を高める働きかけの必要があります。



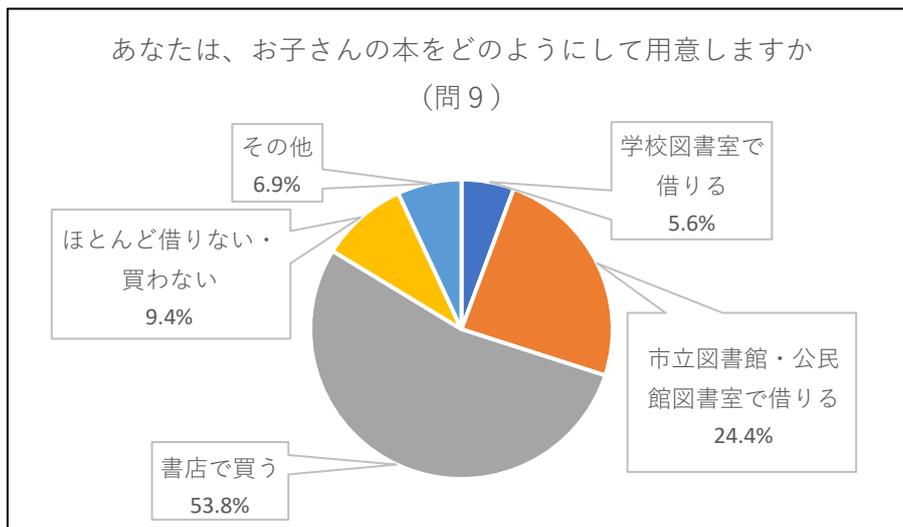
2 保護者の傾向

- ① 「あなたのお子さんは本（読書）が嫌い」「どちらかといえば嫌い」と回答した保護者の割合が、「ご家庭ではお子さんにほとんど本を読んであげていない」と回答した保護者の割合とほぼ同じという結果でした。これは、保護者が日々忙しい環境であるという、今の時代の背景も影響しているのではないかと考えられます。

このことから、親子が一緒に過ごす時間の一つとしての読み聞かせなど、家庭で読書習慣に取り組む姿勢を継続してもらうことが必要です。

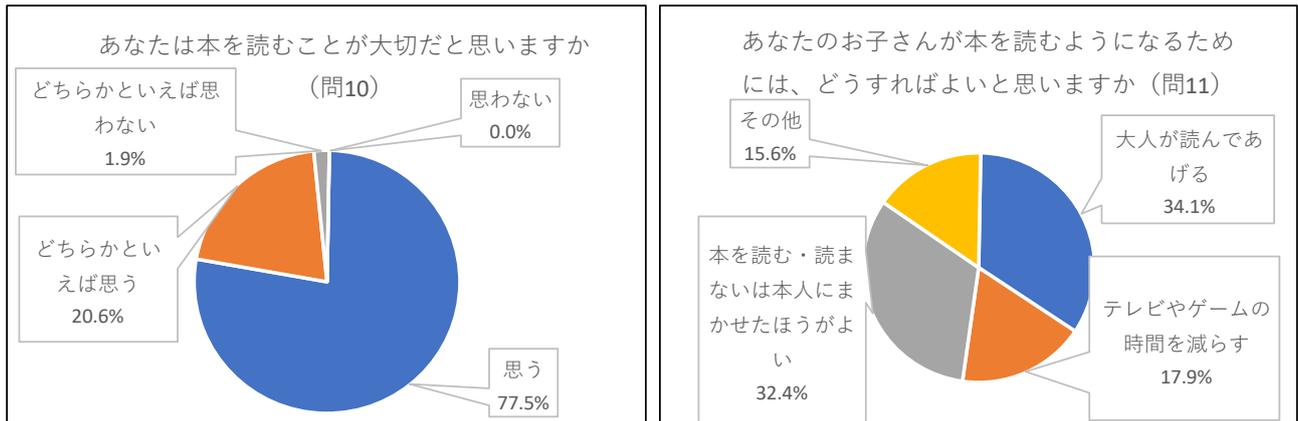


- ② 「お子さんの本をどのようにして用意しているか」「自分が読む本をどのようにして用意するか」については、多くの家庭で本を借りたり購入したりしていますが、「ほとんど借りない・買わない」が9.4パーセントとなっています。「ほとんど借りない・買わない」という家庭においては、家庭の中に本がない状況も考えられますので、このことから、保護者に子供と本との出会いの大切さを理解してもらうよう働きかけていく必要があります。



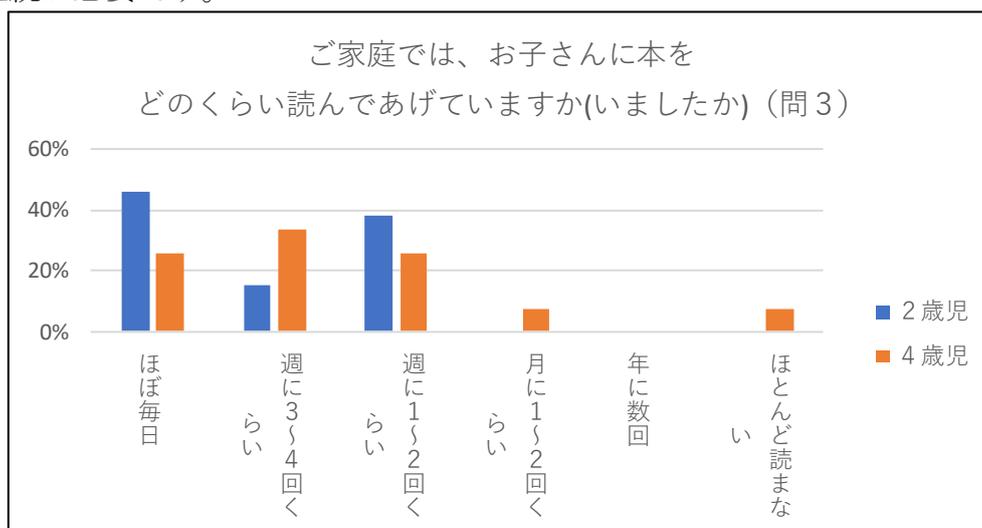
- ③ 本を読むことの大切さについては、「思う」「どちらかといえば思う」を合わせると、98パーセントの保護者が読書の大切さを感じていますが、「本を読むようにするためにはどうすべきか」という問いには「本を読む・読まないは本人にまかせたほうがよい」といった回答の割合が32.4パーセントと高くなっています。

このことから、成長とともに様々なことに興味の広がる子供たちへ読書を進めるきっかけづくりは難しいと思っている家庭が多いと考えられるので、家庭や学校などを巻き込んでの取組など、本が身近にある環境づくりの工夫が必要と考えられます。



- ④ 現在の小学3年生以下の児童を持つ保護者はブックスタート事業が始まってから子育てをしている家庭であり、ブックスタート事業をきっかけに本が好きになり、読み聞かせの機会が増えたとの意見も複数あります。また、親子で読書に取り組む家族も多い傾向にあります。

このことから、家庭での家読（うちどく）の推奨はもとより、読書に親しむきっかけづくりとしての事業効果が反映されているといえるので、乳幼児や低学年の児童に対する子育て支援事業の一つとして、今後もブックスタート事業やセカンドブック事業の継続が必要です。

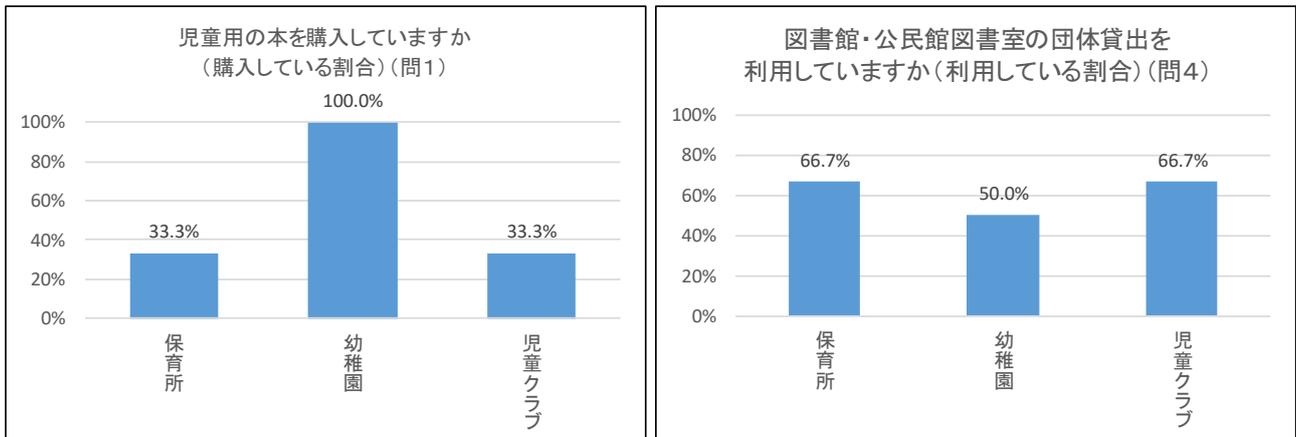


3 保育所・幼稚園・放課後児童クラブの傾向

児童本を購入している割合は、保育所で33.3パーセント、幼稚園では100パーセント、放課後児童クラブで33.3パーセントとなっており、保育所の割合が低くなっています。

多くの保護者は、本を読むことの大切さを認識していますが、現状としては、市立図書館や公民館図書室から施設に対しての図書貸出は約半数の利用にとどまっています。

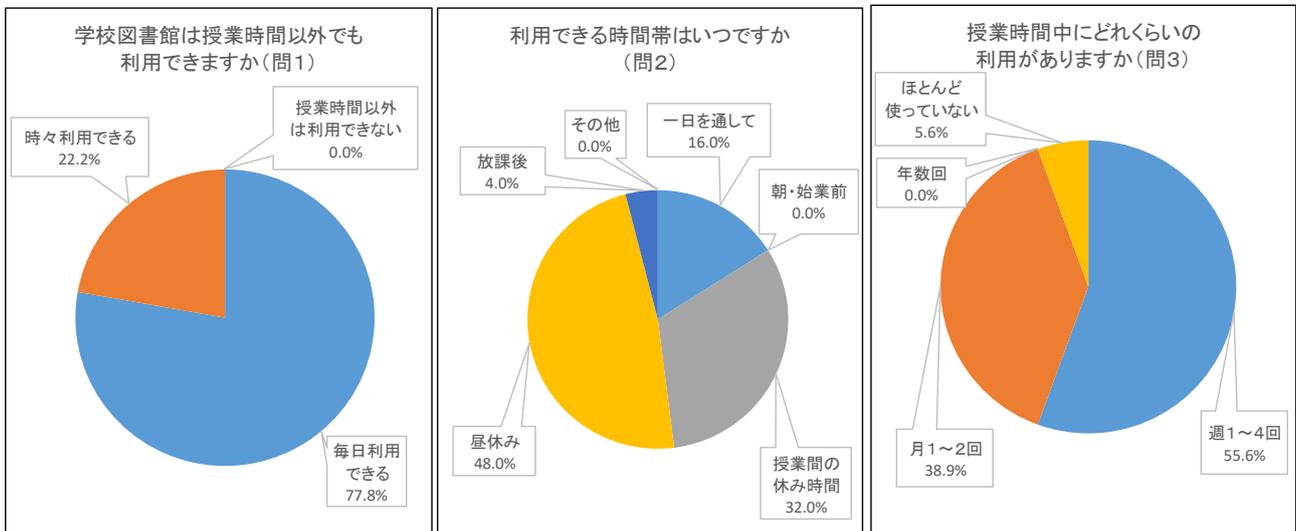
このことから、本を読むことの大切さの認識を子供の読書へどのように反映させていくかが大きな課題だと考えられますので、新しい本を購入することや団体貸出の利用については、多くの子供が本に接する機会を増やす手段の一つとする必要があります。



4 学校の傾向

全ての学校図書館は、「授業時間以外でも利用できる」との回答でありましたが、アンケート調査の結果からは読書を進めるための活動や読書に取り組む時間が少ないと考えられます。

このことから、児童・生徒には、読書の楽しさや本のすばらしさに気付かせることが重要であり、児童・生徒の読書活動の拠点となる学校図書館や市立図書館のさらなる連携、司書教諭を中心とした学校図書館の充実、学級文庫など団体貸出の充実、各種行事等への市立図書館職員の派遣等を進めていく工夫が必要です。



第3章 計画の目標と目標達成のための指標の設定

1 計画の基本的な考え方

子供の読書活動を推進するためには、あらゆる機会やあらゆる場所において本に触れることができる環境づくりが必要です。

このことから、家庭や地域、学校等が連携・協力するとともに、それぞれの役割を認識し、取組を進めることが重要です。

(1) 家庭・地域・学校等を通じた社会全体での子供の読書活動の推進

子供が生涯にわたって読書に親しむ習慣を形成するためには、乳幼児期から家庭の中で読書に親しみ、読書を楽しむ経験が必要不可欠です。

家庭での読書に関する取組に、地域や学校等の関係機関が関わり、社会全体で支援しながら子供の発達段階に応じた読書活動を推進していきます。

(2) 子供の読書活動を推進するための読書環境の整備

子供の読書活動を推進するためには、子供たちが好きな本を自由に手に取り、知的好奇心を満たすことのできる環境が必要となります。

読書活動の中心的な役割を果たす市立図書館や公民館図書室、学校図書館の充実を図り、関係機関等と連携しながら、子供たちが本に親しみ、活用しやすい環境づくりを進めます。

2 計画の目標

子供の読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に進めるために、「栗原市教育等の振興に関する施策の大綱」（令和4年1月策定）で示す『「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進と、学びを生かした地域づくりの振興』を本計画の基本目標として位置づけ、次のような計画目標を掲げ、社会全体で子供の読書活動を進めるために取り組んでいきます。

**子供が楽しく自主的に読書する習慣の形成と、
読書活動に取り組みやすい環境の整備・充実**

3 目標達成のための指標の設定

子供の発達段階ごとの特徴を捉え、発達段階に応じた取組を進めるため、宮城県教育委員会が検証した「第三次みやぎ子ども読書活動推進計画」の成果と課題を基に、本計画推進のための指標を設定し、計画目標達成を目指すものとします。

なお、それぞれの指標の目標値設定にあたっては、アンケート調査の結果を勘案して設定するものとします。

《発達段階ごとの特徴》（文部科学省資料「子どもの読書活動の推進に関する有識者会議 論点まとめ」抜粋）

①幼稚園・保育所等の時期（おおむね6歳頃まで）

乳幼児期には、周りの大人から言葉をかけてもらったり乳幼児なりの言葉を聞いてもらったりしながら言葉を次第に獲得するとともに、絵本や物語を読んでもらうこと等を通じて絵本や物語に興味を示すようになる。更に様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになる。

②小学生の時期（おおむね6歳から12歳まで）

小学校低学年では、本の読み聞かせを聞くだけでなく、1人で本を読もうとするようになり、語彙の量が増え、文字で表された場面や情景をイメージするようになる。

中学年になると、最後まで本を読み通すことができる子供とそうでない子供の違いが現れ始める。読み通すことができる子供は、自分の考え方と比較して読むことができるようにとともに、読む速度が上がり、多くの本を読むようになる。

高学年では、本の選択ができ始め、その良さを味わうことができるようになり、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で、この段階で発達がとどまったり、読書の幅が広がらなくなったりする者がでてくる場合がある。

③中学生の時期（おおむね12歳から15歳まで）

多読の傾向は減少し、共感したり感動したりできる本を選んで読むようになる。自己の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとするようになる。

【指標1】本を全く読まない児童生徒の割合を減らします

本計画の目標年度までに、1か月間に1冊も本を読まない児童生徒の割合（不読率）を減らし、一人でも多くの子供たちが本に親しむことを目指します。

◎ 1か月間に1冊も本を読まない子供の割合

	【基準】	【目標】	目標設定の考え方
小学生	14.1%	10.3% 以下	宮城県第四次計画の現状に対する令和5年度目標値の伸び率をもって設定する。
中学生	17.4%	14.1% 以下	

[現状・課題]

アンケート調査の結果では、小学生・中学生ともに宮城県全体の現状値（令和2年度調査）を上回る不読率となっており、特に小学生では宮城県全体よりも7.8ポイントも読書離れが進んでいる傾向がうかがえます。

なお、宮城県計画においても、小学校から中学校へと学校段階が進むにつれ不読率が高くなり、読書離れが進む傾向にあることが指摘されています。

《指標1の設定内容》

アンケート調査「1か月間に教科書・雑誌等以外の本を何冊読んだか」で「読まなかった」と回答した数を基準とし、目標値は宮城県第四次計画の現状値（平成30年度：小学生9.6%・中学生19.7%）に対する目標値（令和5年度：小学生7.0%・中学生16.0%）の伸び率をもって設定する。

	設問に対する回答数（合計）	うち「読まなかった」の回答数	「読まなかった」と回答した割合	【基準】	【目標】
小学生	686人	97人	14.1%	小学生	7.0÷9.6×14.1≒10.3% 宮城県第四次計画の現状に対する目標値を考慮し10.3%とする。
小学3年生	(342人)	(32人)	(9.4%)	14.1%	
小学6年生	(344人)	(65人)	(18.9%)	(令和3年度)	
中学生 (2年生)	219人	38人	17.4%	中学生 17.4% (令和3年度)	16.0÷19.7×17.4≒14.1% 宮城県第四次計画の現状に対する目標値を考慮し14.1%とする。

〈参考：宮城県全体における1か月間に1冊も本を読まない子供の割合〉

（出典：子ども読書活動に関するアンケート調査（宮城県教育庁生涯学習課））（単位：％）

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
県全体	小学生	7.6	9.7	9.6	8.4	6.3
	中学生	14.0	16.8	19.7	20.1	15.6

※ 本調査は、県教育事務所ブロックごとの児童数割合で比例案分のうえ無作為抽出により実施したものである。

[指標2] 市立図書館及び公民館図書室等の図書の個人貸出数を増やします

本計画の目標年度までに、多くの子供たちが市立図書館や公民館図書室を日常的に利用することで家庭読書の機会を増やし、乳幼児期から親子で絵本や物語の世界を楽しむことを目指します。

◎市立図書館及び公民館図書室の年間個人貸出数

	【基準】	【目標】	目標設定の考え方
一般書	87,000冊/年	89,000冊/年以上	宮城県第四次計画の現状に対する令和5年度目標値の伸び率をもって設定する。
児童書	62,000冊/年	65,000冊/年以上	

[現状・課題]

アンケート調査の結果では、市立図書館又は公民館図書室を利用したことがないと回答した割合が小学生で54.4%、中学生で64.4%と高く、その理由としては「購入することが多い」「図書館が遠い」「時間がない」という回答が多くありました。

《指標2の設定内容》

新型コロナウイルス感染症対策としての利用制限をかける前の通常期（平成30年度）の貸出冊数を基準とし、目標値は宮城県第四次計画の現状値（平成28年度：一般書894万冊・児童書305万冊）に対する目標値（令和5年度：一般書910万冊以上・児童書318万冊以上）の伸び率をもって設定する。

	市立図書館	公民館図書室	合計	【基準】	【目標】
一般書	56,094冊	31,105冊	87,199冊	87,000冊/年 (平成30年度)	$9,100,000 \text{冊} \div 8,940,000 \text{冊} \times 87,000 \text{冊} \approx 89,000 \text{冊以上}$ 宮城県第四次計画の現状に対する目標値を考慮し89千冊以上とする。
児童書	41,213冊	21,209冊	62,422冊	62,000冊/年 (平成30年度)	$3,180,000 \text{冊} \div 3,050,000 \text{冊} \times 62,000 \text{冊} \approx 65,000 \text{冊以上}$ 宮城県第四次計画の現状に対する目標値を考慮し65千冊以上とする。

〈参考：市立図書館及び公民館図書室の年度別個人貸出数〉

(出典：栗原市立図書館データベース) (単位：冊)

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
【合計】	一般書	86,516	87,199	86,427	85,293
	児童書	56,036	62,422	57,506	51,582
市立図書館	一般書	57,328	56,094	55,621	57,233
	児童書	38,914	41,213	38,228	37,166
公民館図書室	一般書	29,188	31,105	30,806	28,060
	児童書	17,122	21,209	19,278	14,416

※ 統計数値としては、図書館ネットワークが運用された平成29年度からの数値を集計値として採用する。

[指標3] 学校図書館の図書の貸出数を増やします

本計画の目標年度までに、学校図書館における児童生徒一人あたりの年間貸出数を増やし、子供たちが日常的に読書を楽しむことを目指します。

◎学校図書館の児童生徒一人あたりの年間貸出数

	【基準】	【目標】	目標設定の考え方
小学生	20.8冊/年	23冊/年以上	宮城県第四次計画の現状に対する令和5年度目標値の伸び率をもって設定する。
中学生	1.8冊/年	2冊/年以上	

[現状・課題]

アンケート調査の結果では、学校図書館の利用について小学生・中学生ともに月に1～2回程度の利用が最も多くなっています。その一方、学校図書館を利用したことがないと回答した児童生徒が小学3年生6.7%、小学6年生27.7%、中学2年生59.7%と、学年が進むにつれ高くなる傾向にあります。特に、中学生は全体の半数程度が学校図書館を利用していない状況となっています。

《指標3の設定内容》

新型コロナウイルス感染症対策としての利用制限をかける前の通常期（平成29年度：宮城県第四次計画の現状値）の貸出冊数を基準とし、目標値は宮城県第四次計画の現状値（平成29年度：小学生38.8冊・6.9冊）に対する目標値（令和5年度：小学生42.3冊以上・中学生7.3冊以上）の伸び率をもって設定する。

	【基準】	【目標】
小学生	20.8冊/年 (平成29年度)	$42.3 \text{冊} \div 38.8 \text{冊} \times 20.8 \text{冊} \approx 23 \text{冊以上}$ 宮城県第四次計画の現状に対する目標値を考慮し23冊以上とする。
中学生	1.8冊/年 (平成29年度)	$7.3 \text{冊} \div 6.9 \text{冊} \times 1.8 \text{冊} \approx 1.9 \text{冊} \approx 2 \text{冊以上}$ 宮城県第四次計画の現状に対する目標値を考慮し2冊以上とする。

〈参考：学校図書館の児童生徒一人あたりの年間貸出数（栗原市と宮城県全体の比較）〉

（出典：みやぎ子供の読書活動推進に関する学校状況調査（宮城県教育庁生涯学習課））（単位：冊）

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
栗原市	小学生	20.6	20.8	16.9	13.6	14.9
	中学生	1.7	1.8	1.8	1.8	1.5
宮城県全体	小学生	37.1	38.8	41.7	40.8	42.1
	中学生	6.8	6.9	7.1	6.6	6.0
【比較】	小学生	▲ 16.5	▲ 18.0	▲ 24.8	▲ 27.2	▲ 27.2
	中学生	▲ 5.1	▲ 5.1	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 4.5

[指標4] 児童生徒の平均読書冊数を増やします

本計画の目標年度までに、児童生徒一人あたりの1か月の平均読書冊数を増やし、子供たちが発達段階に応じて積極的に読書を楽しむことを目指します。

◎平均読書冊数（児童生徒一人あたりの1か月平均読書冊数）

	【基準】	【目標】	目標設定の考え方
小学生	4.3冊/月	5冊/月以上	学校図書館の年間貸出数目標を考慮し、10%の伸び率をもって設定する。
中学生	2.3冊/月	3冊/月以上	

[現状・課題]

アンケート調査の結果では、直近1か月の読書冊数について、小学生は5冊以上と回答した者が最も多く（小学3年生 35.7%、小学6年生 27.3%）、中学生は1冊と回答（21.9%）した者が最も多くありました。一方、全く読まなかったと回答した者がそれぞれ小学3年生で9.4%、小学6年生で18.9%、中学2年生で17.4%でした。

なお、宮城県計画においても、小学校から中学校へ学校段階が進むにつれ平均読書冊数が少なくなる傾向が指摘されています。

《指標4の設定内容》

アンケート調査「最近1か月の間に何冊読んだか」の回答を基に算定した平均冊数を基準とし、目標値は指標3の伸び率（約10%）を乗じた数をもって設定する。

	回答数合計	5冊以上	4冊	3冊	2冊	1冊	0冊	無回答
小学生	686人	216人 (31.5%)	73人 (10.6%)	108人 (15.7%)	114人 (16.6%)	75人 (10.9%)	97人 (14.1%)	3人 (0.4%)
3年生	(342人)	(122人)	(52人)	(57人)	(44人)	(34人)	(32人)	(1人)
6年生	(344人)	(94人)	(21人)	(51人)	(70人)	(41人)	(65人)	(2人)
中学生 (2年生)	219人	48人 (21.9%)	9人 (4.1%)	29人 (13.2%)	44人 (20.1%)	51人 (23.3%)	38人 (17.4%)	0人 (0.0%)
想定(冊数)	3,473冊	2,292冊	328冊	411冊	316冊	126冊	0冊	【平均】
小学生	2,971冊	2,052冊	292冊	324冊	228冊	75冊	0冊	4.3冊
中学生	502冊	240冊	36冊	87冊	88冊	51冊	0冊	2.3冊

※想定冊数の5冊以上については、県調査（平均）が5冊を上回る場合は県調査の数値を採用し、5冊を下回る場合は5冊とする。

※平均値の算出：想定冊数合計÷（回答数合計－無回答）

	【基準】	【目標】
小学生	4.3冊/月	4.3冊×110%＝4.73冊≒5冊以上 学校図書館の年間貸出数目標を考慮し、月当たり5冊以上とする。
中学生	2.3冊/月	2.3冊×110%＝2.53冊≒3冊以上 学校図書館の年間貸出数目標を考慮し、月当たり3冊以上とする。

〈参考：宮城県全体の1か月に読んだ本の平均冊数〉

（出典：子ども読書活動に関するアンケート調査（宮城県教育庁生涯学習課））（単位：冊）

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
県全体	小学生	9.6	9.4	9.1	9.6	9.7
	中学生	3.9	4.0	3.8	3.5	4.0

※ 本調査は、県教育事務所ブロックごとの児童数割合で比例案分のうえ無作為抽出により実施したものである。

第4章 計画の推進方針と体系

1 計画の推進方針

計画の目標を実現するため、推進方針を次のとおり定めます。

① 家庭における子供の読書活動の推進

家庭は、乳幼児期から家族との触れ合いを通して、子供が基本的な生活習慣や人に対する信頼感などを学んでいく場であり、家庭における読み聞かせなどの読書活動を通して、子供のうちから読書習慣を身に付けることも重要です。

このことから、家庭において、日常の生活を通して、読書が生活の一部として継続的に行われるよう、子供の読書活動推進のための環境づくりに努めていきます。

② 学校や児童福祉施設等における子供の読書活動の推進

幼稚園や保育所等においては、幼稚園教育計画や保育所保育計画等に基づき、乳幼児が絵本や物語に親しむ機会を積極的に確保していきます。

小・中学校及び義務教育学校においては、学校教育法の中に、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」が規定されています。さらに、学習指導要領においても、「言語活動等を充実するとともに、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の自主的、自発的な読書活動を充実すること」とされています。

このことから、日々の読書指導や各教科の調べ学習における学校図書館や市立図書館の活用を促進していきます。

また、学校図書館は、児童生徒にとって身近な場所であるとともに、読書指導の場としての機能も備えていることから、児童生徒の様々な興味や関心に応えることができる学校図書館資料の整備・充実に努めるとともに、司書教諭や学校図書担当教諭を中心とした推進体制の整備と学校司書の配置を検討していきます。

さらに、学校によっては学校読み聞かせボランティアによる読書推進活動もあることから、そのような取組の推進を図っていきます。

③ 地域における子供の読書活動の推進

地域は、子供が様々な地域活動や生活体験を通じ、より多くの気づきを得て成長する場となっています。

子供の読書活動の推進には、小・中学校及び義務教育学校や幼稚園・保育所、子育て支援センター、市立図書館や公民館図書室などの関係機関、さらには、地域の読み聞かせボランティア団体や放課後児童クラブ関係者などが連携・協力した取組が行われることが重要であり、現在、栗原市でも実施している絵本を使った読み聞かせやおはなし会等、子供が身近な地域で本と親しむことができる環境が定着しつつあります。

このことから、市立図書館や公民館図書室など、子供が学校以外で多くの本と出会

い、自分の読みたい本を自由に選び、読書の楽しみを知ることができる場所や、自ら調べ知識・情報を得ることで自分の考えを持つことができる学びの場の確保に努めるとともに、引き続き、関係機関、地域のボランティアの方々と連携し、子供に本の楽しさや魅力を伝え、また大人も子供も一緒に読書を楽しめる取組を推進していきます。

④ 関係機関の連携・協力による子供の読書活動の推進

子供の読書活動の推進にあたっては、読書の楽しさや本のすばらしさ、本を使って調べ学ぶことを教える大人の存在が重要であり、子供の読書活動の拠点となる学校図書館や市立図書館は、それぞれ教諭や司書、読書ボランティアなどの協力により運営されていることを踏まえ、情報交換や資料貸借、読み聞かせの実施等の連携や協力を行い、子供の読書環境の整備を進め、図書館機能を充実させることを目指していく必要があります。

このことから、関係機関の連携・協力のもと、子供の主体的な読書活動を効果的、効率的に支援することで、豊かな心の育成と学力向上につながるような取組の推進を図っていきます。

2 計画の体系

【基本目標】

「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進と、学びを生かした地域づくりの振興

計画の目標

子供が楽しく自主的に読書する習慣の形成と、読書活動に取り組みやすい環境の整備・充実

4つの推進方針

〔推進方針①〕 家庭における子供の読書活動の推進

〔推進方針②〕 学校や児童福祉施設等における子供の読書活動の推進

〔推進方針③〕 地域における子供の読書活動の推進

〔推進方針④〕 関係機関の連携・協力による子供の読書活動の推進

推進体制

子育て支援課
学校教育課
社会教育課

連携・協力

実施体制

保育所・幼稚園
認定こども園
子育て支援センター
小・中学校及び
義務教育学校

市立図書館
公民館図書室
文化施設・地区公民館
ボランティア団体

第5章 計画推進のための取組

推進方針	主な取組	取り組み内容	実施体制
1 家庭における子供の読書活動の推進	① ブックスタート事業	乳児と保護者を対象とした、読み聞かせと絵本の贈呈を行う。	市立図書館
	② セカンドブック事業	3歳児と保護者を対象とした、絵本の贈呈を行う。	市立図書館
	③ 子どもの本展示会	宮城県図書館が選書した児童書の展示と読み聞かせを実施する。	市立図書館
	④ ブックラリー	図書館司書が推薦図書を年代別に抽出し、読書数に応じて記念品を贈呈する。	市立図書館
	⑤ 手づくり絵本教室	講師招へいによる自作物語の絵本製作を実施する。	市立図書館
	⑥ 本のリサイクル	市立図書館で不要となった図書資料を市民へ無償提供する。	市立図書館
	⑦ 本の福袋	図書館司書が推薦する図書資料を年代ごとにパッケージし、その袋単位での貸出を行う。	市立図書館
	⑧ 障がい者郵送貸出サービス	身体的理由により図書館への来館が困難な市民に対し、郵送による図書資料等の貸出を実施する。	市立図書館
	⑨ リクエストサービス	情報を希望する市民に対し、必要とする資料が来館施設にない場合、他施設との相互貸借により資料を取り寄せ、貸出を実施する。	市立図書館 公民館図書室
	⑩ こどもの読書週間における啓発事業	全国的に展開される「こどもの読書週間」に合わせ、児童向けの図書の紹介と啓発を行う。	市立図書館 公民館図書室
	⑪ 読書週間における啓発事業	全国的に展開される「読書週間」に合わせ、読書啓発のためのイベント等を実施する。	市立図書館 公民館図書室

推進方針	主な取組	取り組み内容	実施体制
2 学校や児童福祉施設等における子供の読書活動の推進	① 小・中学校学習支援事業	学級文庫の貸出や児童生徒の調べ学習支援等を実施する。	小・中学校及び義務教育学校 市立図書館
	② レファレンスサービス	児童生徒が必要とする情報や資料の検索・提供を実施する。	小・中学校及び義務教育学校 市立図書館 公民館図書室
	③ 読書感想文の取組	より深く読書し、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。	小・中学校及び義務教育学校
	④ 読書感想画の取組	読書の感動を絵画表現することにより、児童生徒の読書力・表現力を養い、読書の活動を振興する。	小・中学校及び義務教育学校
	⑤ 朝読書の取組	読書の楽しさを味わわせ、望ましい読書の習慣と豊かな情操を養う。	小・中学校及び義務教育学校
	⑥ 司書教諭及び学校司書の充実	各学校の学校図書館における図書資料の充実を図り、児童生徒の利用を促進するため、司書教諭や学校司書の配置に努める。	小・中学校及び義務教育学校
	⑦ 継続的な読み聞かせの実施	乳幼児の保育の中で読み聞かせを継続的に行うことで、絵本を読んでもらう楽しさやお話に親しむ機会をつくる。	保育所・幼稚園 認定こども園
	⑧ 推薦絵本等の展示	年齢・季節等に適した絵本や図鑑を展示したり、各種広報物などに絵本の紹介を掲載することで、子供や保護者の本に親しむ機会を増やす。	保育所・幼稚園 認定こども園
	⑨ 蔵書絵本の貸出	保育所や幼稚園で所蔵している絵本の貸出を行うことで、家庭において親子で絵本に親しむ機会が増えるようにする。	保育所・幼稚園 認定こども園

推進方針	主な取組	取り組み内容	実施体制
<p>3 地域における子供の読書活動の推進</p>	<p>① 移動図書館車運行事業</p>	<p>市立図書館等から離れた地区などに対し、巡回による図書資料の貸出を実施する。</p>	<p>小・中学校及び義務教育学校 地区公民館 市立図書館</p>
	<p>② おはなし会</p>	<p>幼児から小学生を対象とした、絵本の読み聞かせやすばなしと手遊びなどを実施する。</p>	<p>保育所・幼稚園 認定こども園 子育て支援センター 市立図書館 公民館図書室</p>
<p>4 関係機関の連携・協力による子供の読書活動の推進</p>	<p>① ボランティアグループの育成</p>	<p>読み聞かせを実施するボランティア団体を育成するための勉強会や講習会を実施する。</p>	<p>市立図書館 公民館図書室</p>
	<p>② ボランティア団体協力による読み聞かせの実施</p>	<p>学校においてボランティア団体による読み聞かせを実施することで、児童生徒に本に親しませ、読書の楽しみを味わわせながら、進んで本を読もうとする意欲を高める。</p>	<p>小・中学校及び義務教育学校</p>

栗原市子供読書活動推進計画

【 資料編 】

【資料Ⅰ】子どもの読書活動の推進に関する法律

○子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)
(法律第百五十四号)
第百五十三回臨時国会
第一次小泉内閣

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

【資料2】学校図書館法

○学校図書館法

(昭和二十八年八月八日)
(法律第百八十五号)
第十六回特別国会
第五次吉田内閣

(この法律の目的)

第一条 この法律は、学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もつて学校教育を充実することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「学校図書館」とは、小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）、中学校（義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。）及び高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）（以下「学校」という。）において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによつて、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備をいう。

(設置義務)

第三条 学校には、学校図書館を設けなければならない。

(学校図書館の運営)

第四条 学校は、おおむね左の各号に掲げるような方法によつて、学校図書館を児童又は生徒及び教員の利用に供するものとする。

- 一 図書館資料を収集し、児童又は生徒及び教員の利用に供すること。
- 二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- 三 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと。
- 四 図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し、児童又は生徒に対し指導を行うこと。
- 五 他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力すること。

2 学校図書館は、その目的を達成するのに支障のない限度において、一般公衆に利用させることができる。

(司書教諭)

第五条 学校には、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない。

2 前項の司書教諭は、主幹教諭（養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。）、指導教諭又は教諭（以下この項において「主幹教諭等」という。）をもつて充てる。この場合において、当該主幹教諭等は、司書教諭の講習

を修了した者でなければならない。

- 3 前項に規定する司書教諭の講習は、大学その他の教育機関が文部科学大臣の委嘱を受けて行う。
- 4 前項に規定するものを除くほか、司書教諭の講習に関し、履修すべき科目及び単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。

(学校司書)

- 第六条 学校には、前条第一項の司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（次項において「学校司書」という。）を置くよう努めなければならない。
- 2 国及び地方公共団体は、学校司書の資質の向上を図るため、研修の実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(設置者の任務)

- 第七条 学校の設置者は、この法律の目的が十分に達成されるようその設置する学校の学校図書館を整備し、及び充実を図ることに努めなければならない。

(国の任務)

- 第八条 国は、第六条第二項に規定するもののほか、学校図書館を整備し、及びその充実を図るため、次の各号に掲げる事項の実施に努めなければならない。
- 一 学校図書館の整備及び充実並びに司書教諭の養成に関する総合的計画を樹立すること。
 - 二 学校図書館の設置及び運営に関し、専門的、技術的な指導及び勧告を与えること。
 - 三 前二号に掲げるもののほか、学校図書館の整備及び充実のため必要と認められる措置を講ずること。

附 則 抄

(施行期日)

- 1 この法律は、昭和二十九年四月一日から施行する。
(司書教諭の設置の特例)
- 2 学校には、平成十五年三月三十一日までの間（政令で定める規模以下の学校にあつては、当分の間）、第五条第一項の規定にかかわらず、司書教諭を置かないことができる。

附 則 (昭和三三年五月六日法律第一三六号) 抄

- 1 この法律は、公布の日から施行し、昭和三十三年四月一日から適用する。

附 則 (昭和四一年六月三〇日法律第九八号) 抄

(施行期日)

- 1 この法律は、昭和四十一年七月一日から施行する。

附 則 (平成九年六月一日法律第七六号)

この法律は、公布の日から施行する。

附 則 (平成一〇年六月一二日法律第一〇一号) 抄

(施行期日)

- 第一条 この法律は、平成十一年四月一日から施行する。

【資料3】子どもの読書活動に関するアンケート 調査結果

1 調査概要

このアンケートは、「栗原市子供読書活動推進計画」の策定にあたり、市内の子供の読書活動や読書環境の現状を把握し、子供の読書活動に影響を与える要因を明らかにするとともに、子供の読書活動に関わる施設と市立図書館・公民館図書室が連携して、子供の読書環境づくりを地域ぐるみで推進するための参考とするものであります。

また、本年度に策定する「栗原市子供読書活動推進計画」にも反映し、子供たちが生涯にわたり読書習慣を身につけ、子供自身が読書の楽しさを知り、心豊かに成長できる一助となるよう活用していくものであります。

2 調査方法

(1)児童・生徒用	小中学校で学級ごとに担任が立ち会って一斉に実施。
(2)保護者用	アンケート用紙を子どもが持ち帰り、保護者が回答。(QRコード)
(3)施設用	アンケート用紙で依頼、各部署を通じ市立図書館で回収。
(4)ブックスタート・セカンドブック用	乳幼児健診時に保護者に依頼、回収。(QRコード)

3 調査期間

令和3年9月1日(水)から令和3年9月30日(木)までの1か月間

4 調査対象

(1)児童・生徒用	各小学校3学年及び6学年、各中学校2学年のそれぞれ1学級児童・生徒を対象とする。
(2)保護者用	各保育所の2歳児、各幼稚園の4歳児、各小学校3学年及び6学年、各中学校2学年のそれぞれ1学級保護者を対象とする。(QRコード)
(3)施設用	各保育所、各幼稚園、各放課後児童クラブ、各小学校、各中学校を対象とする。
(4)ブックスタート・セカンドブック用	ブックスタートは乳幼児健診対象児童保護者を対象とする。セカンドブックは3歳児健診対象児童保護者を対象とする。(QRコード)

5 回答状況

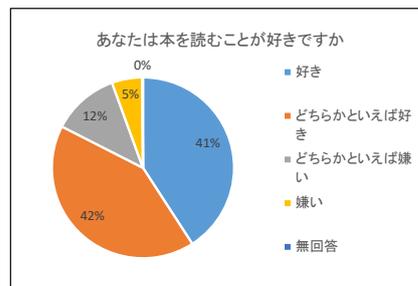
(1)児童・生徒用	小学3年生342人、小学6年生344人、中学2年生219人 【合計905人】
(2)保護者用	保護者160人
(3)施設用	保育所12か所、幼稚園10か所、放課後児童クラブ12か所、小中学校及び義務教育学校18か所 【合計52か所】
(4)ブックスタート・セカンドブック用	保護者4人

集計結果【(1)児童・生徒用】

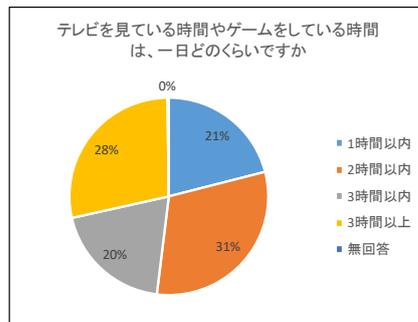
回答方法	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答率	人数	回答率	人数	回答率	人数	回答率
アンケート用紙	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%
合計	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%

モニター数	回答者数	回答率
905	905	100.0%

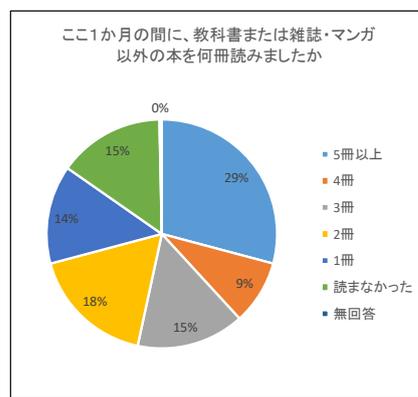
問1 あなたは本を読むことが好きですか。	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
好き	172	50.3%	116	33.7%	82	37.4%	370	40.9%
どちらかといえば好き	128	37.4%	153	44.5%	96	43.8%	377	41.7%
どちらかといえば嫌い	27	7.9%	54	15.7%	27	12.3%	108	11.9%
嫌い	15	4.4%	20	5.8%	14	6.4%	49	5.4%
無回答			1	0.3%			1	0.1%
合計	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%



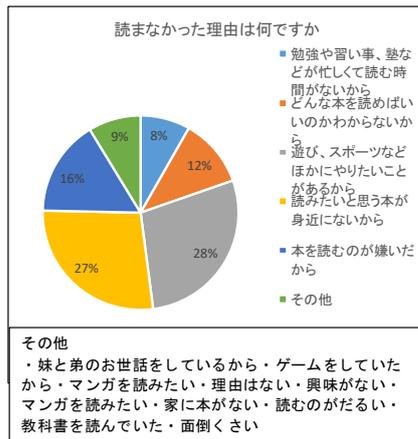
問2 テレビを見ている時間やゲームをしている時間は、一日どのくらいですか。	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
1時間以内	110	32.2%	45	13.1%	35	16.0%	190	21.0%
2時間以内	101	29.5%	109	31.7%	70	32.0%	280	30.9%
3時間以内	50	14.6%	73	21.2%	54	24.7%	177	19.6%
3時間以上	81	23.7%	115	33.4%	60	27.4%	256	28.3%
無回答			2	0.6%			2	0.2%
合計	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%



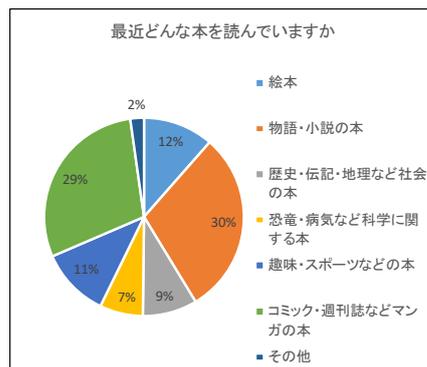
問3 あなたは、ここ1か月の間に、教科書または雑誌・マンガ以外の本を何冊読みましたか。	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
5冊以上	122	35.7%	94	27.3%	48	21.9%	264	29.2%
4冊	52	15.2%	21	6.1%	9	4.1%	82	9.1%
3冊	57	16.7%	51	14.8%	29	13.2%	137	15.1%
2冊	44	12.9%	70	20.3%	44	20.1%	158	17.5%
1冊	34	9.9%	41	11.9%	51	23.3%	126	13.9%
読まなかった	32	9.4%	65	18.9%	38	17.4%	135	14.9%
無回答	1	0.3%	2	0.6%	0	0.0%	3	0.3%
合計	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%



問4 問3で「読まなかった」を選んだ方の読まなかった理由は何ですか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
勉強や習い事、塾などが忙しくて読む時間がないから	3	6.3%	10	9.3%	5	7.8%	18	8.2%
どんな本を読めばいいのかわからないから	12	25.0%	10	9.3%	3	4.7%	25	11.4%
遊び、スポーツなどほかにやりたいことがあるから	12	25.0%	30	28.0%	20	31.3%	62	28.3%
読みたいと思う本が身近にないから	10	20.8%	29	27.1%	21	32.8%	60	27.4%
本を読むのが嫌いだから	7	14.6%	15	14.0%	13	20.3%	35	16.0%
その他	4	8.3%	13	12.1%	2	3.1%	19	8.7%
合計	48	100.0%	107	100.0%	64	100.0%	219	100.0%

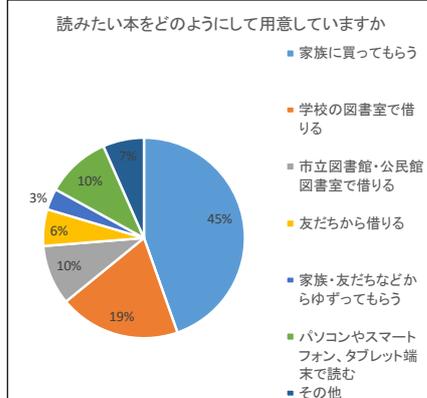


問5 あなたは、最近どんな本を読んでいますか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
絵本	153	24.0%	19	3.2%	9	2.5%	181	11.4%
物語・小説の本	148	23.2%	172	29.4%	154	42.7%	474	29.9%
歴史・伝記・地理など社会の本	47	7.4%	71	12.1%	22	6.1%	140	8.8%
恐竜・病気など科学に関する本	69	10.8%	35	6.0%	7	1.9%	111	7.0%
趣味・スポーツなどの本	71	11.1%	68	11.6%	40	11.1%	179	11.3%
コミック・週刊誌などマンガの本	145	22.7%	200	34.2%	119	33.0%	464	29.3%
その他	5	0.8%	20	3.4%	10	2.8%	35	2.2%
合計	638	100.0%	585	100.0%	361	100.0%	1,584	100.0%



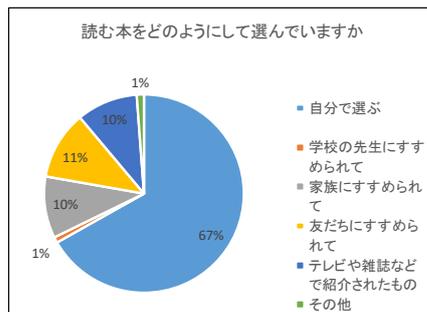
その他
・教科書・国語辞典・ファンブック・読まない・ゲームの攻略本・雑誌・星占い

問6 あなたは、読みたい本をどのようにして用意していますか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
家族に買ってもらう	230	40.1%	253	43.5%	196	53.4%	679	44.6%
学校の図書室で借りる	188	32.8%	88	15.1%	20	5.4%	296	19.4%
市立図書館・公民館図書室で借りる	64	11.2%	54	9.3%	29	7.9%	147	9.7%
友だちから借りる	13	2.3%	38	6.5%	39	10.6%	90	5.9%
家族・友だちなどからゆずってもらう	22	3.8%	16	2.7%	14	3.8%	52	3.4%
パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む	32	5.6%	60	10.3%	66	18.0%	158	10.4%
その他	24	4.2%	73	12.5%	3	0.8%	100	6.6%
合計	573	100.0%	582	100.0%	367	100.0%	1,522	100.0%



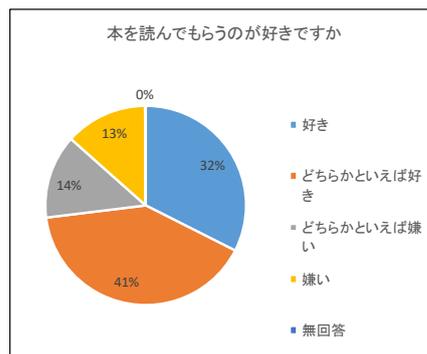
その他
・自分で買う・学級文庫・移動図書館・放課後児童クラブ・家にある本・読まない

問7 あなたは、読む本をどのようにして選んでいますか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
自分で選ぶ	327	72.5%	325	65.7%	211	61.0%	863	66.8%
学校の先生にすすめられて	7	1.6%	3	0.6%	2	0.6%	12	0.9%
家族にすすめられて	54	12.0%	51	10.3%	25	7.2%	130	10.1%
友だちにすすめられて	32	7.1%	59	11.9%	53	15.3%	144	11.1%
テレビや雑誌などで紹介されたもの	31	6.9%	49	9.9%	48	13.9%	128	9.9%
その他	0	0.0%	8	1.6%	7	2.0%	15	1.2%
合計	451	100.0%	495	100.0%	346	100.0%	1,292	100.0%



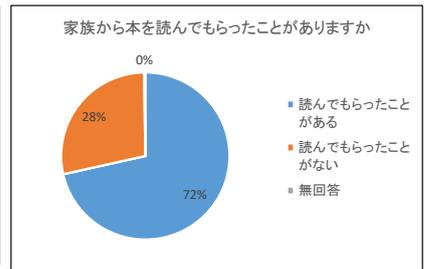
その他
・読まない・YouTubeで知る

問8 あなたは、本を読んでもらうのが好きですか。	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
好き	158	46.2%	84	24.4%	52	23.7%	294	32.5%
どちらかといえば好き	132	38.6%	141	41.0%	94	42.9%	367	40.6%
どちらかといえば嫌い	28	8.2%	54	15.7%	41	18.7%	123	13.6%
嫌い	24	7.0%	64	18.6%	32	14.6%	120	13.3%
無回答			1	0.3%			1	0.1%
合計	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%

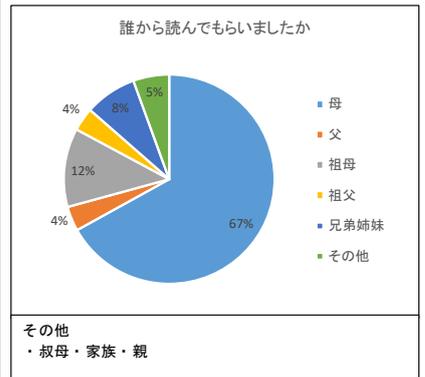


栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

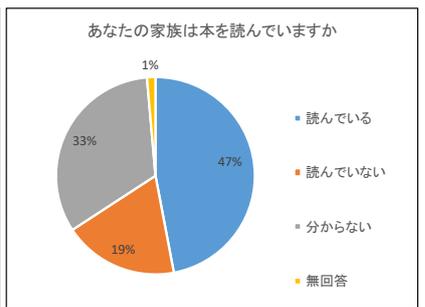
問9 あなたは、いままでに家族から本を読んでもらったことがありますか。	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
読んでもらったことがある	271	79.2%	232	67.4%	144	65.8%	647	71.5%
読んでもらったことがない	70	20.5%	111	32.3%	75	34.2%	256	28.3%
無回答	1	0.3%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
合計	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%



問9-1 誰から読んでもらいましたか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
母	149	70.6%	119	60.7%	84	70.6%	352	66.9%
父	13	6.2%	4	2.0%	3	2.5%	20	3.8%
祖母	21	10.0%	24	12.2%	19	16.0%	64	12.2%
祖父	8	3.8%	8	4.1%	3	2.5%	19	3.6%
兄弟姉妹	17	8.1%	20	10.2%	5	4.2%	42	8.0%
その他	3	1.4%	21	10.7%	5	4.2%	29	5.5%
合計	211	100.0%	196	100.0%	119	100.0%	526	100.0%

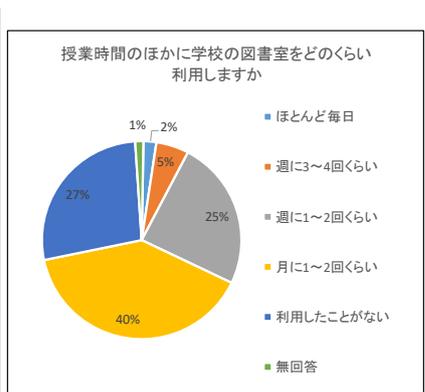


問9-2 あなたの家族は本を読んでいますか。	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
読んでいる					103	47.0%	103	47.0%
読んでいない					41	18.7%	41	18.7%
分からない					72	32.9%	72	32.9%
無回答					3	1.4%	3	1.4%
合計					219	100.0%	219	100.0%

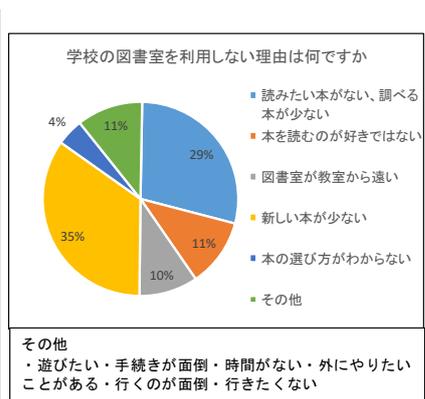


※ 小学校3年生、6年生に設問なし。

問10 授業時間のほかに学校の図書室をどのくらい利用しますか。	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
ほとんど毎日	11	3.2%	6	1.7%	2	0.9%	19	2.1%
週に3~4回くらい	28	8.2%	17	4.9%	3	1.4%	48	5.3%
週に1~2回くらい	155	45.3%	51	14.8%	15	6.8%	221	24.4%
月に1~2回くらい	121	35.4%	171	49.7%	67	30.6%	359	39.7%
利用したことがない	23	6.7%	94	27.3%	129	58.9%	246	27.2%
無回答	4	1.2%	5	1.5%	3	1.4%	12	1.3%
合計	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%

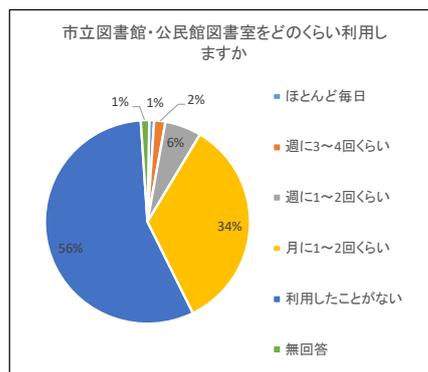


問11 問10で「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由は何ですか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
読みたい本がない、調べる本が少ない	12	26.7%	56	29.5%	74	28.7%	142	28.8%
本を読むのが好きではない	10	22.2%	21	11.1%	25	9.7%	56	11.4%
図書室が教室から遠い	4	8.9%	12	6.3%	32	12.4%	48	9.7%
新しい本が少ない	15	33.3%	68	35.8%	88	34.1%	171	34.7%
本の選び方がわからない	1	2.2%	10	5.3%	11	4.3%	22	4.5%
その他	3	6.7%	23	12.1%	28	10.9%	54	11.0%
合計	45	100.0%	190	100.0%	258	100.0%	493	100.0%

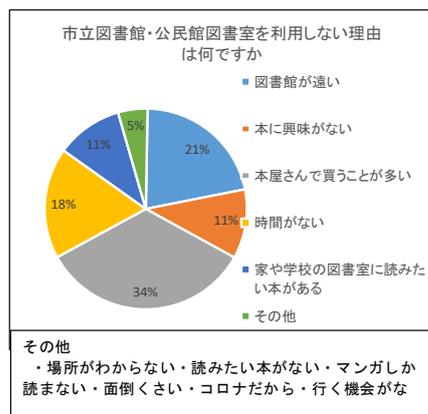


その他
・遊びたい・手続きが面倒・時間がない・外にやりたいことがある・行くのが面倒・行きたくない

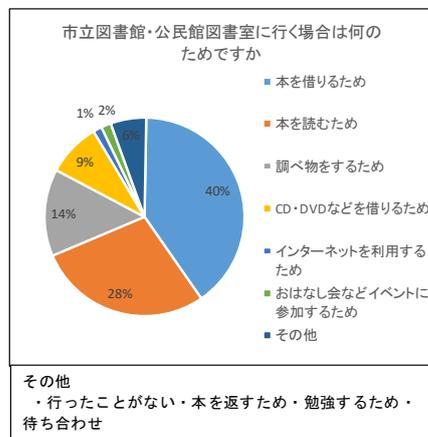
問12 あなたは、市立図書館・公民館図書室をどのくらい利用しますか。	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
ほとんど毎日	7	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.8%
週に3~4回くらい	14	4.1%	1	0.3%	1	0.5%	16	1.8%
週に1~2回くらい	31	9.1%	15	4.4%	6	2.7%	52	5.7%
月に1~2回くらい	123	36.0%	116	33.7%	70	32.0%	309	34.1%
利用したことがない	163	47.7%	207	60.2%	139	63.5%	509	56.2%
無回答	4	1.2%	5	1.5%	3	1.4%	12	1.3%
合計	342	100.0%	344	100.0%	219	100.0%	905	100.0%



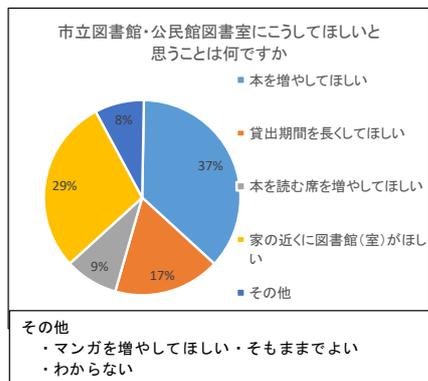
問13 問12で「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由は何ですか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
図書館が遠い	51	20.7%	67	21.1%	56	23.1%	174	21.6%
本に興味がない	20	8.1%	39	12.3%	31	12.8%	90	11.2%
本屋さんで買うことが多い	68	27.6%	120	37.7%	86	35.5%	274	34.0%
時間がない	37	15.0%	54	17.0%	53	21.9%	144	17.9%
家や学校の図書室に読みたい本がある	51	20.7%	28	8.8%	7	2.9%	86	10.7%
その他	19	7.7%	10	3.1%	9	3.7%	38	4.7%
合計	246	100.0%	318	100.0%	242	100.0%	806	100.0%



問14 市立図書館・公民館図書室に行く場合は何のためですか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
本を借りるため	147	39.0%	187	42.4%	118	38.2%	452	40.1%
本を読むため	110	29.2%	108	24.5%	100	32.4%	318	28.2%
調べ物をするため	53	14.1%	63	14.3%	44	14.2%	160	14.2%
CD・DVDなどを借りるため	42	11.1%	36	8.2%	20	6.5%	98	8.7%
インターネットを利用するため	5	1.3%	7	1.6%	4	1.3%	16	1.4%
おはなし会などイベントに参加するため	9	2.4%	7	1.6%	2	0.6%	18	1.6%
その他	11	2.9%	33	7.5%	21	6.8%	65	5.8%
合計	377	100.0%	441	100.0%	309	100.0%	1,127	100.0%



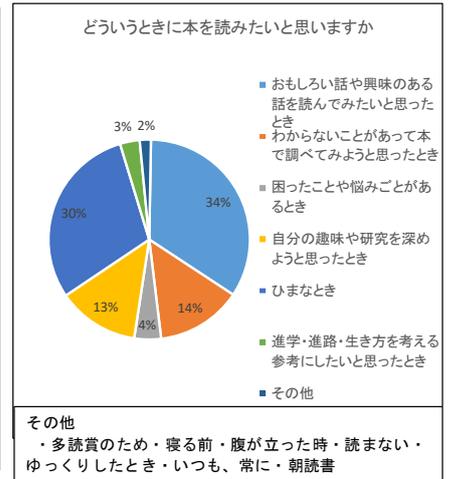
問15 市立図書館・公民館図書室にこうしてほしいと思うことは何ですか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
本を増やしてほしい			119	32.4%	102	43.0%	221	36.6%
貸出期間を長くしてほしい			67	18.3%	39	16.5%	106	17.5%
本を読む席を増やしてほしい			30	8.2%	23	9.7%	53	8.8%
家の近くに図書館(室)がほしい			116	31.6%	59	24.9%	175	29.0%
その他			35	9.5%	14	5.9%	49	8.1%
合計			367	100.0%	237	100.0%	604	100.0%



※小学校3年生に設問なし。

栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

問16 あなたは、どういときに本を読みたいと思いますか。(複数回答可)	小学校3年生		小学校6年生		中学校2年生		合計	
	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合	人数	回答割合
おもしろい話や興味のある話を読んでみたいと思ったとき	207	35.2%	212	32.0%	151	35.6%	570	34.0%
わからないことがあって本で調べてみようと思ったとき	105	17.9%	93	14.0%	33	7.8%	231	13.8%
困ったことや悩みごとがあるとき	23	3.9%	32	4.8%	17	4.0%	72	4.3%
自分の趣味や研究を深めようと思ったとき	65	11.1%	98	14.8%	57	13.4%	220	13.1%
ひまなとき	180	30.6%	183	27.6%	136	32.1%	499	29.8%
進学・進路・生き方を考える参考にしたいと思ったとき			31	4.7%	22	5.2%	53	3.2%
その他	8	1.4%	14	2.1%	8	1.9%	30	1.8%
合計	588	100.0%	663	100.0%	424	100.0%	1,675	100.0%



問17 あなたは、どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか。

面白い本を置く (同意見57人) [同意見14人]
おすすめ本を紹介する (同意見10人) <同意見32人> [同意見19人]
いろいろな本、新しい本を増やす [同意見50人]
興味を持たせる <同意見30人> [同意見31人]
おもしろい本を置く <同意見27人>
マンガやアニメの本を置く <同意見27人> [同意見21人]
学校で読む時間(朝読書を含む)をつくる [同意見10人]
家の近くに図書館が欲しい <同意見19人> [同意見4人]
ゲームをやり過ぎない <同意見8人>
ポスターで紹介する。(同意見7人) <同意見7人> [同意見4人]
アンケートをとる [同意見4人]
新しい本を増やす。(同意見5人) <同意見7人>
ゲームをやり過ぎない(同意見4人) [同意見1人]
図書館カードをみんなに配る。読書タイムをつくる。貸出期間を長くする。スタンプラリーをする。カフェをつくる など

※ (): 小学校3年生、 < > : 小学校6年生、 [] : 中学校2年生

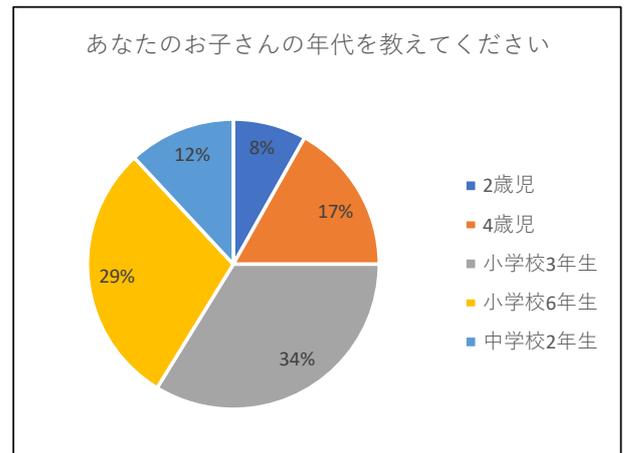
集計結果【(2)保護者用】

回答方法	人数	回答率
ウェブ回答	152	95.0%
アンケート用紙	8	5.0%
合計	160	100.0%

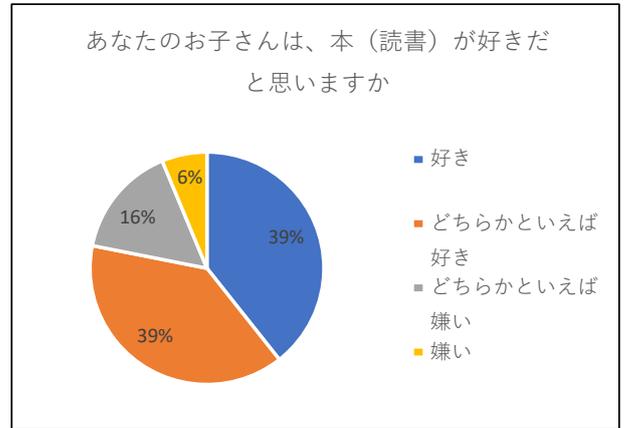
モニター数	回答者数	回答率
905	160	17.7%

※モニター数は小・中学生の回答者数

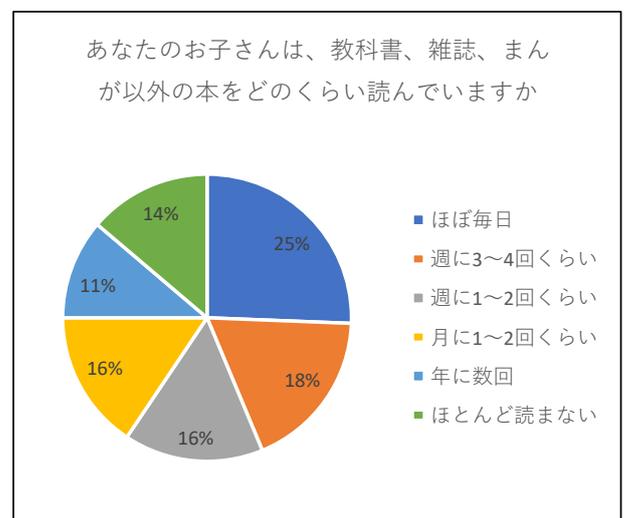
あなたのお子さんの年代を教えてください。	人数	回答割合
2歳児	13	8.1%
4歳児	27	16.9%
小学校3年生	54	33.8%
小学校6年生	47	29.4%
中学校2年生	19	11.9%
合計	160	100.0%



問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。	人数	回答割合
好き	63	39.4%
どちらかといえば好き	62	38.8%
どちらかといえば嫌い	25	15.6%
嫌い	10	6.3%
合計	160	100.0%

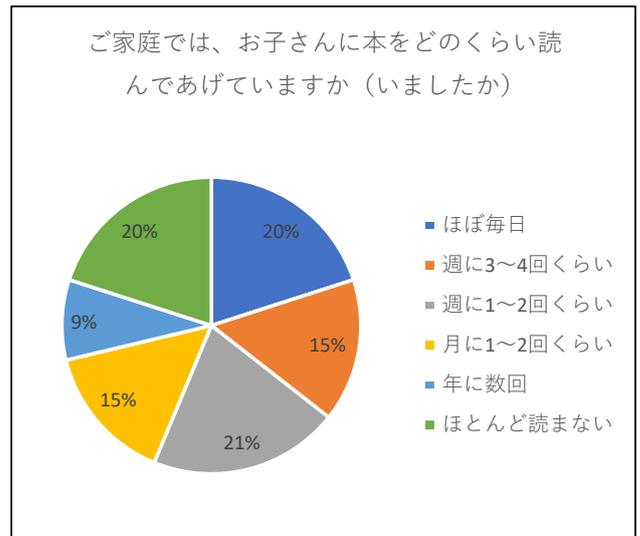


問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、まんが以外の本をどのくらい読んでいますか。	人数	回答割合
ほぼ毎日	41	25.6%
週に3~4回くらい	29	18.1%
週に1~2回くらい	25	15.6%
月に1~2回くらい	25	15.6%
年に数回	18	11.3%
ほとんど読まない	22	13.8%
合計	160	100.0%

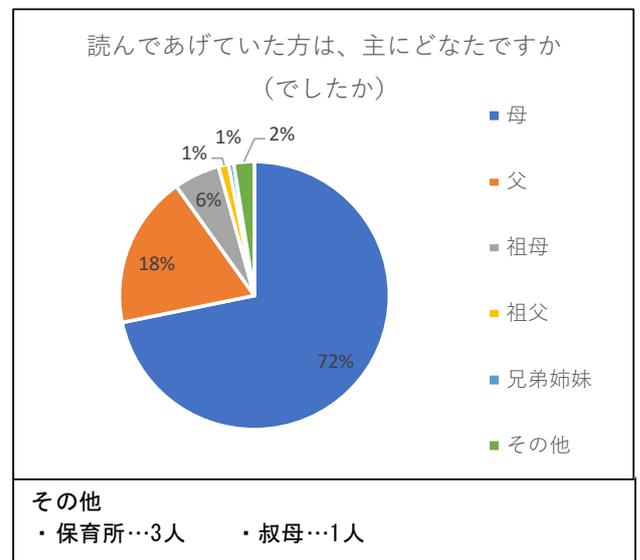


栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

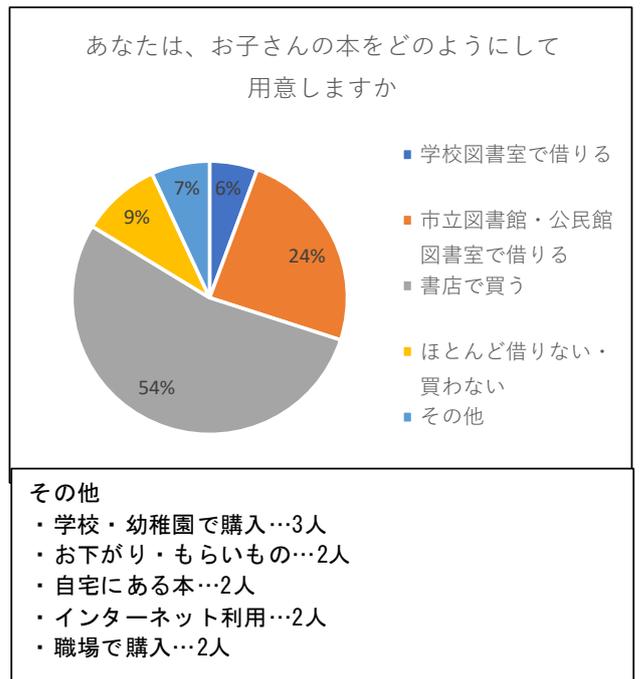
問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか)	人数	回答割合
ほぼ毎日	32	20.0%
週に3~4回くらい	25	15.6%
週に1~2回くらい	33	20.6%
月に1~2回くらい	24	15.0%
年に数回	14	8.8%
ほとんど読まない	32	20.0%
合計	160	100.0%



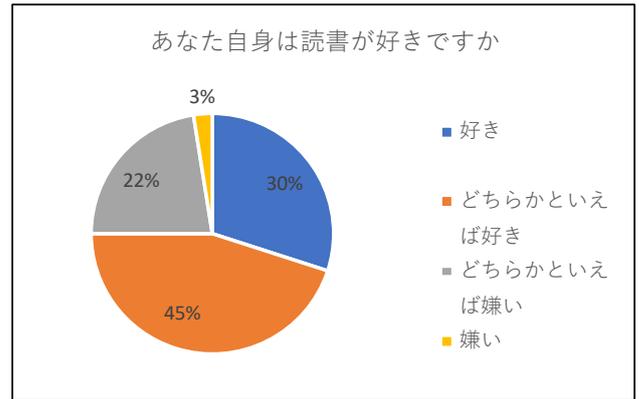
問4 読んであげていた方は、主にどなたですか。(でしたか) (複数回答可)	人数	回答割合
母	117	71.8%
父	30	18.4%
祖母	9	5.5%
祖父	2	1.2%
兄弟姉妹	1	0.6%
その他	4	2.5%
合計	163	100.0%



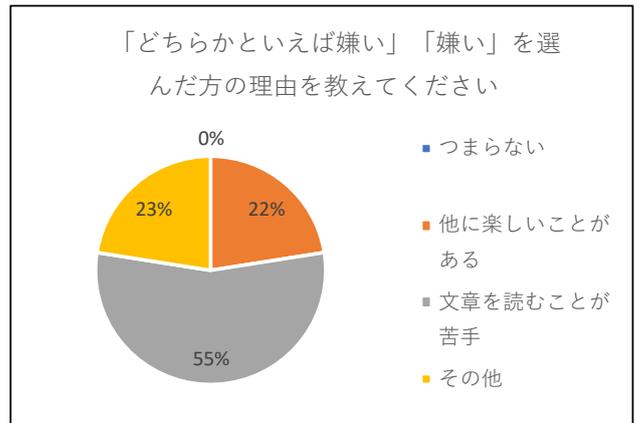
問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。	人数	回答割合
学校図書室で借りる	9	5.6%
市立図書館・公民館図書室で借りる	39	24.4%
書店で買う	86	53.8%
ほとんど借りない・買わない	15	9.4%
その他	11	6.9%
合計	160	100.0%



問6 あなた自身は読書が好きですか。	人数	回答割合
好き	48	30.0%
どちらかといえば好き	72	45.0%
どちらかといえば嫌い	36	22.5%
嫌い	4	2.5%
合計	160	100.0%

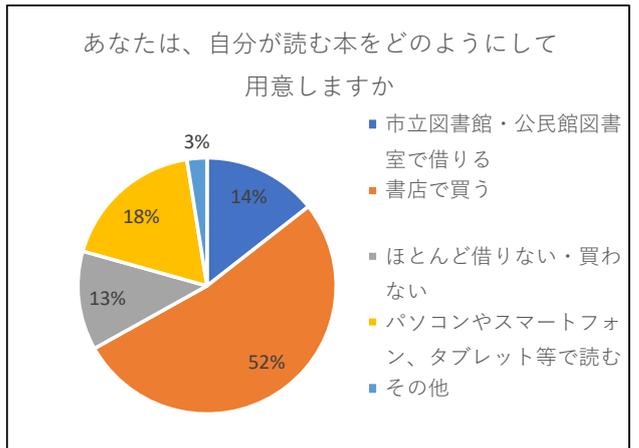


問7 「どちらかといえば嫌い」「嫌い」を選んだ方の理由を教えてください。	人数	回答割合
つまらない	0	0.0%
他に楽しいことがある	9	22.5%
文章を読むことが苦手	22	55.0%
その他	9	22.5%
合計	40	100.0%



- その他
- ・時間がない…4人
 - ・億劫・進まない…3人
 - ・体を動かしたい…1人
 - ・スマホを見る…1人

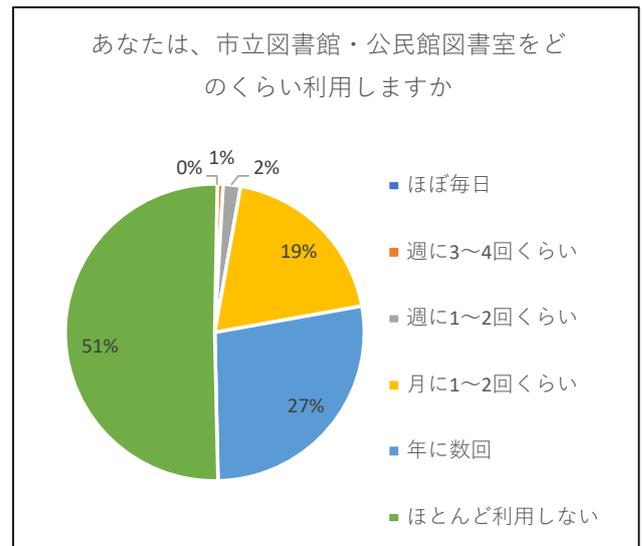
問8 あなたは、自分が読む本をどのようにして用意しますか。	人数	回答割合
市立図書館・公民館図書室で借りる	23	14.4%
書店で買う	84	52.5%
ほとんど借りない・買わない	20	12.5%
パソコンやスマートフォン、タブレット等で読む	29	18.1%
その他	4	2.5%
合計	160	100.0%



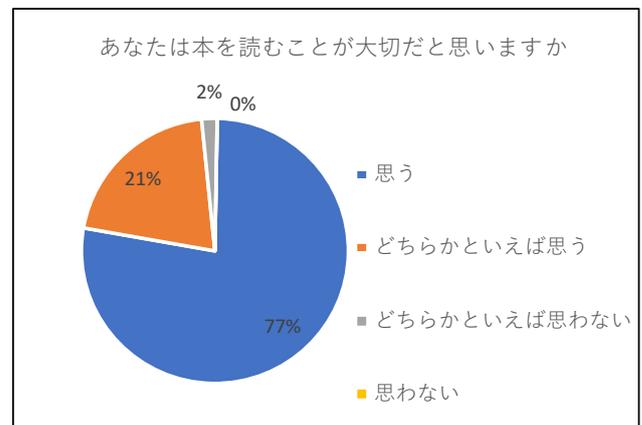
- その他
- ・インターネットで購入する…3人
 - ・栗原市以外の図書館で借りる…1人

栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

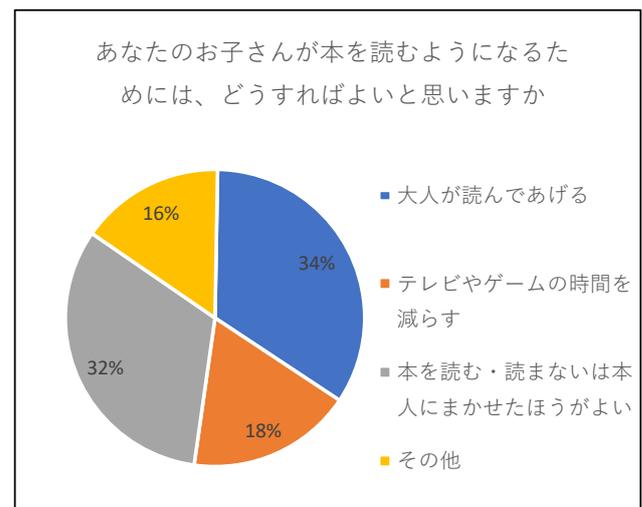
問9 あなたは、市立図書館・公民館図書室をどのくらい利用しますか。	人数	回答割合
ほぼ毎日	0	0.0%
週に3~4回くらい	1	0.6%
週に1~2回くらい	3	1.9%
月に1~2回くらい	31	19.4%
年に数回	44	27.5%
ほとんど利用しない	81	50.6%
合計	160	100.0%



問10 あなたは本を読むことが大切だと思いますか。	人数	回答割合
思う	124	77.5%
どちらかといえば思う	33	20.6%
どちらかといえば思わない	3	1.9%
思わない	0	0.0%
合計	160	100.0%



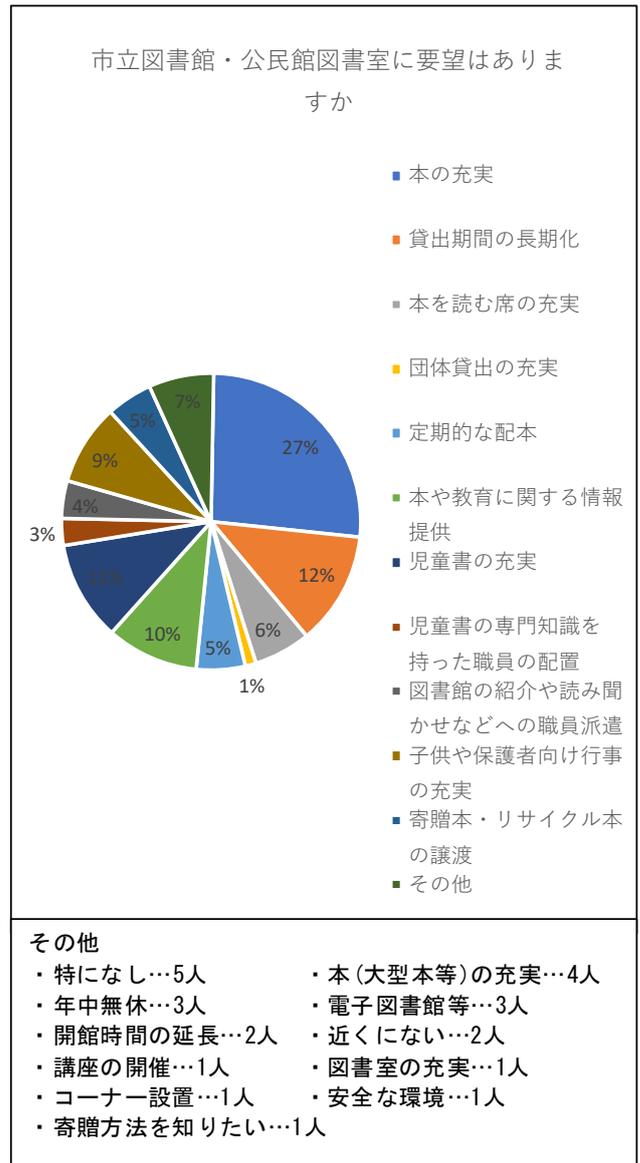
問11 あなたのお子さんが本を読むようになるためには、どうすればよいと思いますか。(複数回答可)	人数	回答割合
大人が読んであげる	61	34.1%
テレビやゲームの時間を減らす	32	17.9%
本を読む・読まないは本人にまかせたほうがよい	58	32.4%
その他	28	15.6%
合計	179	100.0%



その他

- ・家族・親が読む姿を見せる…12人
- ・興味のある本を用意する…8人
- ・本を読む楽しさを伝える・勧める…5人
- ・幼少期からの読み聞かせ…3人

問12 市立図書館・公民館図書室に要望はありますか。(複数回答可)	人数	回答割合
本の充実	90	26.4%
貸出期間の長期化	42	12.3%
本を読む席の充実	21	6.2%
団体貸出の充実	4	1.2%
定期的な配本	18	5.3%
本や教育に関する情報提供	34	10.0%
児童書の充実	37	10.9%
児童書の専門知識を持った職員の配置	10	2.9%
図書館の紹介や読み聞かせなどへの職員派遣	14	4.1%
子供や保護者向け行事の充実	30	8.8%
寄贈本・リサイクル本の譲渡	17	5.0%
その他	24	7.0%
合計	341	100.0%



栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

その他、子供の読書活動推進に関するご意見がありましたらご記入ください。

子供が小学校の高学年になり、学校の宿題で調べ物をするために市の図書館を使用するようになりました。下の子達も一緒に来るので本に触れる事ができます。こういう機会が多くなれば、利用も増えるのではないかと思います。また、最近その影響で、市の広報のおすすめ本や某図書室のホワイトボードのおすすめもみえています。

親が読んであげる事が大切だと思います

幼稚園や小学校でも貸し出ししてもらいたい

コロナ禍前は毎週子供と図書館に行き絵本を借りてましたが、すっかり足が遠退いてしまいました。子供には出来れば本や図書館を好きになってほしいので、また一緒に行きたいなと思ってます。

移動図書館を学校に来てもらう。

大崎市図書館は、返却された本を丁寧にアルコール消毒してから貸し出し場所へ戻しているが、築館図書館では、その様子が無くすぐに貸し出し場所へ置いているよう。また児童書においても比較的古い本が多い為、大崎市図書館を利用する事が多い。パソコンで貸し出し可能であるか検索する機能は、貸し出し可能であっても金成図書館であったりで見にくい

学校の図書館の本がしょぼ過ぎます。

もっと学校図書を充実させて欲しい。

幼稚園までは沢山本を借りましたが、小学校の本は興味のそそられる本が無いようです。

幼稚園頃から定期的に図書館で本を借りて、寝る前に読み聞かせをしていましたが、今はメディアばかりで読む機会も減っているので、これを機に本にふれさせたいです。

学校の図書室の本が高学年くらいになると入れ替わりがなく飽きるようであまり図書室には行かなくなるそうです。

なぜ読書活動を推進しなければならないのか、なぜ本を読まなければならないのか。雑誌、マンガではなぜだめなのか。目的と手段を履き違えないよう子供に接していきたいと思います。

現在配布されているお薦め図書に連動した図書の紹介スペースを公民図書館にも設置してほしい。

メディアを始め楽しいこと、魅力的なものが世の中溢れすぎている。残念ながらその中で読書を選ぶのは難しいことと思う。小さい時に絵本の読み聞かせは十分時間をとったが残念ながら読書の習慣には結び付けることができなかった

メディアなど、世の中には子どもにとって魅力的で誘惑されてしまうものが溢れすぎている。我が家は3人の子どもたちが小さい頃から絵本を読み聞かせたが、本好きに繋がったのは長男1人…。

幼少期の環境が一番だと思っています。妊婦の時期から、先輩ママからの助言が、いいサイクルが生まれるのではと感じています。

子供達が、興味をもつきっかけになるようなポップを作る。

先生達のおすすめの本などを一冊、給食の放送時間や、放課後の数分に声優さんのようにちょっと、読みきかせたりする。

本の世界が頭にうかんで楽しさに気付くと読書が好きになると思う。

本を読むことの大切さや、本を読むことで得られる心の豊かさ楽しさなどを、子供達にわかりやすく伝え続けていって欲しいです。

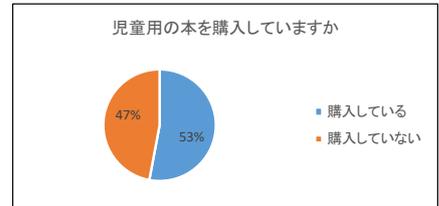
週末に1冊図書室より借りて読む

集計結果【(3)施設用：保育所・幼稚園・放課後児童クラブ】

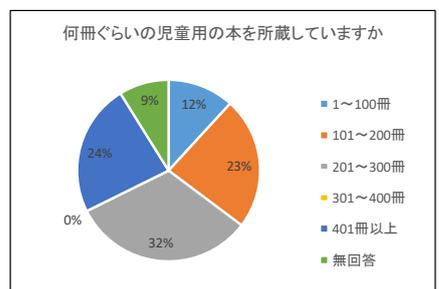
回答方法	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答率	施設数	回答率	施設数	回答率	施設数	回答率
アンケート用紙	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%
合計	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%

モニター数	回答者数	回答率
34	34	100.0%

問1 児童用の本を購入していますか。	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
購入している	4	33.3%	10	100.0%	4	33.3%	18	52.9%
購入していない	8	66.7%	0	0.0%	8	66.7%	16	47.1%
合計	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%

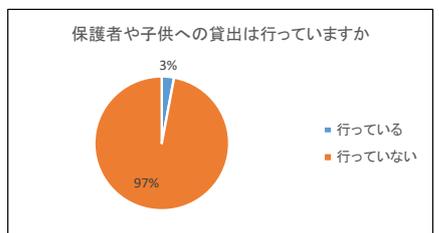


問2 何冊ぐらいの児童用の本を所蔵していますか。	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
1～100冊	2	16.7%	0	0.0%	2	16.7%	4	11.8%
101～200冊	3	25.0%	2	20.0%	3	25.0%	8	23.5%
201～300冊	4	33.3%	3	30.0%	4	33.3%	11	32.4%
301～400冊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
401冊以上	2	16.7%	4	40.0%	2	16.7%	8	23.5%
無回答	1	8.3%	1	10.0%	1	8.3%	3	8.8%
合計	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%

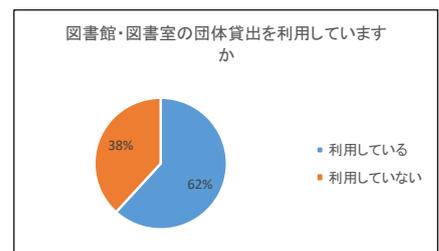


※最大700冊、最小70冊、平均274冊

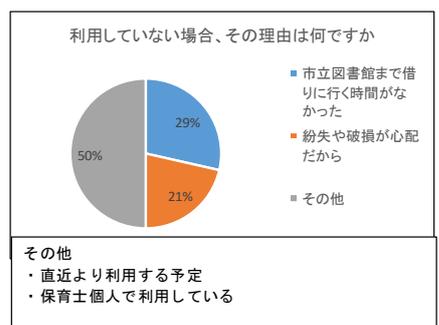
問3 保護者や子供への貸出は行っていますか。	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
行っている	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	1	2.9%
行っていない	12	100.0%	9	90.0%	12	100.0%	33	97.1%
合計	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%



問4 図書館・図書室の団体貸出を利用していますか。	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
利用している	8	66.7%	5	50.0%	8	66.7%	21	61.8%
利用していない	4	33.3%	5	50.0%	4	33.3%	13	38.2%
合計	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%

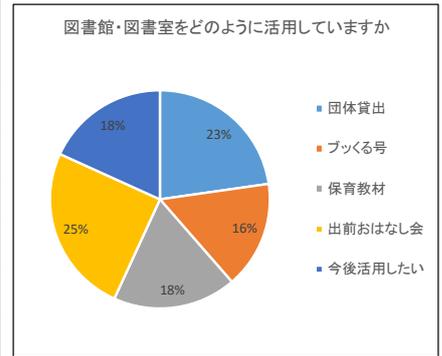


問5 利用していない場合、その理由は何ですか。(複数回答可)	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
市立図書館まで借りに行く時間がなかった	1	20.0%	2	50.0%	1	20.0%	4	28.6%
紛失や破損が心配だから	1	20.0%	1	25.0%	1	20.0%	3	21.4%
その他	3	60.0%	1	25.0%	3	60.0%	7	50.0%
合計	5	100.0%	4	100.0%	5	100.0%	14	100.0%

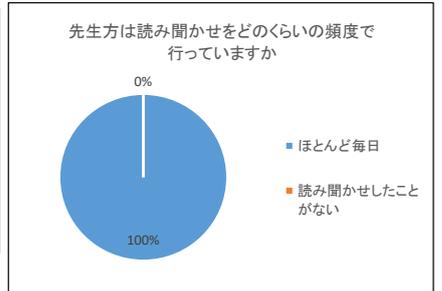


栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

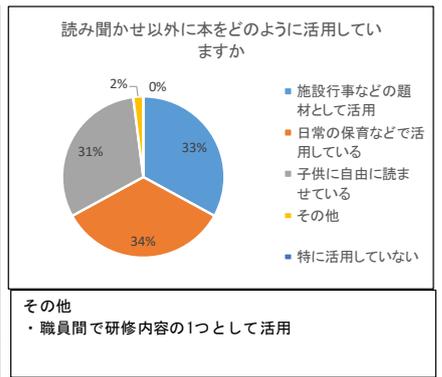
問6 図書館・図書室をどのように活用していますか。(複数回答可)	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
団体貸出	4	23.5%	2	20.0%	4	23.5%	10	22.7%
ブックる号	2	11.8%	3	30.0%	2	11.8%	7	15.9%
保育教材	3	17.6%	2	20.0%	3	17.6%	8	18.2%
出前おはなし会	5	29.4%	1	10.0%	5	29.4%	11	25.0%
今後活用したい	3	17.6%	2	20.0%	3	17.6%	8	18.2%
合計	17	100.0%	10	100.0%	17	100.0%	44	100.0%



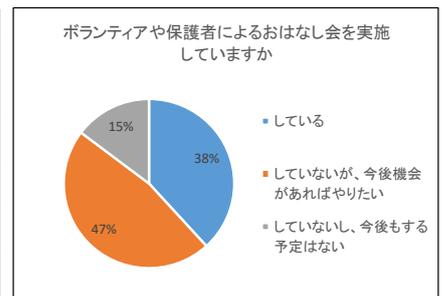
問7 先生方は読み聞かせをどのくらいの頻度で行っていますか。	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
ほとんど毎日	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%
読み聞かせしたことがない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%



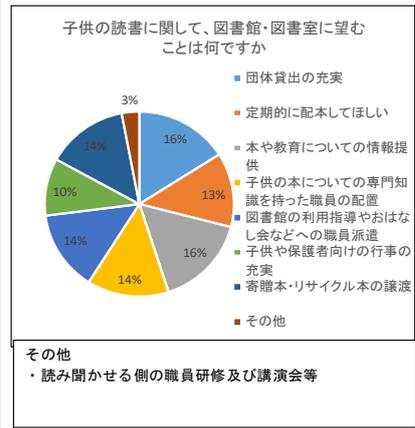
問8 読み聞かせ以外に本をどのように活用していますか。(複数回答可)	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
施設行事などの題材として活用	12	33.3%	9	32.1%	12	33.3%	33	33.0%
日常の保育などで活用している	12	33.3%	10	35.7%	12	33.3%	34	34.0%
子供に自由に読ませている	11	30.6%	9	32.1%	11	30.6%	31	31.0%
その他	1	2.8%	0	0.0%	1	2.8%	2	2.0%
特に活用していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	36	100.0%	28	100.0%	36	100.0%	100	100.0%



問9 ボランティアや保護者によるおはなし会を実施していますか。	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
している	4	33.3%	5	50.0%	4	33.3%	13	38.2%
していないが、今後機会があればやりたい	6	50.0%	4	40.0%	6	50.0%	16	47.1%
していないし、今後もする予定はない	2	16.7%	1	10.0%	2	16.7%	5	14.7%
合計	12	100.0%	10	100.0%	12	100.0%	34	100.0%



問10 子供の読書に関して、図書館・図書室に望むことは何ですか。(複数回答可)	保育所		幼稚園		児クラ		合計	
	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合	施設数	回答割合
団体貸出の充実	6	16.2%	4	15.4%	6	16.2%	16	16.0%
定期的に配本してほしい	5	13.5%	3	11.5%	5	13.5%	13	13.0%
本や教育についての情報提供	5	13.5%	6	23.1%	5	13.5%	16	16.0%
子供の本についての専門知識を持った職員の配置	6	16.2%	2	7.7%	6	16.2%	14	14.0%
図書館の利用指導やおはなし会などの職員派遣	5	13.5%	4	15.4%	5	13.5%	14	14.0%
子供や保護者向けの行事の充実	4	10.8%	2	7.7%	4	10.8%	10	10.0%
寄贈本・リサイクル本の譲渡	5	13.5%	4	15.4%	5	13.5%	14	14.0%
その他	1	2.7%	1	3.8%	1	2.7%	3	3.0%
合計	37	100.0%	26	100.0%	37	100.0%	100	100.0%



問11 子供の読書環境を良くするため、取り組みたいこと、必要と思うことは何ですか。

- ◎ 保育所
- ・ 絵本』は保育（子育て）にとって、欠かせないものなので、保育士の肉声であらゆる場面で「読み聞かせ」の時間を取り入れていくことを大切にしている。
 - ・ 読み聞かせに「適した絵本の選び方」を保護者に少しでも意識してもらえるように、クラスだよりや保育所だよりで「おすすめ絵本」「子どもが好きな絵本」と称して、絵本の紹介をしている。
 - ・ 絵本の「音や言葉のリズムや響き」「子どもが感じる季節感」「言葉に触れる・知るきっかけ」「絵本から遊びに発展」「聞く力を身につけること」など、子どもの保育に適した、保育士の絵本選定の仕方や読み聞かせ方、子どもに見せる位置、などに工夫する意識をもつことを大事にしたいので、絵本に関する講演や講習会、家庭教育学級ができればと願う。
 - ・ もう少し低年齢児用の絵本の購入をしていきたい。
 - ・ 学年だよりや研究だよりなどで、絵本やわらべ歌などの紹介をしていますが、図書館からもお勧め本の紹介などもあると助かります。
 - ・ 保育所でのように絵本に親しんでいるかを保護者に知らせ、家庭で絵本を読む時間をつくるきっかけ作りとなってほしい。現在、クラスだよりや玄関に毎月おすすめの絵本やクラスでの読み聞かせの様子の写真を掲示しているので、引き続き継続する
 - ・ 子どもたちが自由に好きな絵本を読むことができるような環境作りを力を入れる。
 - ・ コロナが収束すれば本の貸し出しを復活させたい。
 - ・ 子ども達が読んでみたいと手に取れるような絵本の配置、保護者には興味関心のある絵本の紹介を引き続きしていきたい。
 - ・ 保護者に向けて、読み聞かせの啓発活動
 - ・ 保護者への情報提供（保育所での読み聞かせの様子やどんな絵本を読み聞かせているかなど）
 - ・ 絵本よりも動画に頼りながらの育児や日々の忙しさに追われがちな保護者に絵本の読み聞かせを行いながらの育児の楽しさ（子どもとのスキンシップを図れる、絵本を通して得られる言葉のリズムや響きの心地よさ等）に気づいてもらえるように、クラスだよりで絵本の紹介を行っている。また、保育参観時に絵本についてのお話を聞ける講習会ができればと思う。
 - ・ 保育所入所児（0～2歳）に合わせ、乳幼児向けの絵本が欲しい。
 - ・ 各種動画視聴をしている子どもが多く、家庭では絵本に触れる機会が少ないと思われる。保護者に対し、日常の子どもの姿を知らせながら、おたよりなども活用し、絵本の楽しさや面白さに気づいてもらえるようにしていきたい。
 - ・ 保育所として子どもたちが自由に見られる本が少なく限られているので、もう少し低年齢児用の絵本の購入をしていきたい。学年だよりでも絵本の魅力や子どもたちが興味を示している本の紹介等していますが、今後も読み聞かせの推奨や絵本の紹介をしていきたい。
 - ・ 子どもに合った絵本の選び方や絵本の読み聞かせの仕方がよくわからない保護者もいる。また、動画の視聴に頼って育児をしている保護者もいる。
 - ・ 絵本の読み聞かせの大切さに気付いてもらえるよう、保育参観等を利用し、読み聞かせについてのお話や実際に親子で読み聞かせを体験する機会を設けたい。
 - ・ 絵本コーナーや、親子でゆっくり読み聞かせができるスペースがあるといいが、保育室の確保の問題などで、なかなかそのようなスペースを設けることができない。（コロナ禍の間は感染予防の為に難しいが、いつかそのような取り組みができればと思う）
- ◎ 幼稚園
- ・ 絵本を紹介するコーナーづくり。
 - ・ 絵本の紹介、読み聞かせの大切さを伝えることが必要。
 - ・ コロナが収束すれば本の貸出しを復活させたい。
 - ・ コロナが収束すれば、園の絵本の貸出しを通して、幼児と保護者の絵本への関心を深めたい。
 - ・ 図書コーナーの環境整備。
 - ・ 絵本を大事に使えるように機会を見て園児に周知していく。
 - ・ 絵本コーナーや親子でゆっくり読み聞かせできるスペースがあるといいが、保育室の確保の問題で、そのようなスペースを設けることができない。
 - ・ 絵本を大切に扱い、見たり読んだりできる指導と環境づくり。
 - ・ 家庭への絵本の貸出しを行っていたが、感染症防止のため中止している、貸出できない分、教師がたくさん読み聞かせをしていく必要がある。
 - ・ 絵本に親しむことが少ないため、意図的に絵本の貸出しや読み聞かせを通して親子の触れ合いや絵本を読んだときの子供の様子など家庭に投げかけるなどの取り組みをしている。
 - ・ 保育室で子供が自由にたどることができるスペースと時間を確保したい。教師が読み聞かせの時間を毎日意識して取り入れる継続性を持ちたい。
- ◎ 放課後児童クラブ
- ・ 静かに興味ある本に集中できる環境があればよい。
 - ・ 本など図書館から借りて放課後児童クラブに置くだけでは子供たちは率先して読まないで、おやつ時などの時間を利用して支援員が読み聞かせを行う。
 - ・ フックする号で新しい本が入ったときに、本の紹介。
 - ・ 読書タイムでは、静かに本を読む環境づくり。
 - ・ 学年にあった内容の本を準備したい。
 - ・ 静かに読書できる時間を設けたい。
 - ・ 数年前より、毎日の活動の中に10分間読書を取り入れたことにより、本嫌いだっただけの子が本好きになったと保護者の方からお話があったり、集中力がついたり嬉しいう変化があります。読書タイムを継続しつつ、読み聞かせを充実させたいと考えております。
 - ・ 定期的に本を入れ替えたい。
 - ・ 長期休みの日には10分読書の時間を設け、本に親しむようにしたい。
 - ・ 約10分程度の読書タイムを設け、落ち着いた本と向き合う時間をつくる。
 - ・ 児童が読むことを徳助に感じて本を手にとらない児童が多いので、繰り返しやさしい分の物語を読み聞かせ、内容に興味を持った時、容易に自分で読めるような素地を作っていくと考えている。

問12 計画策定に当たってその他のご意見

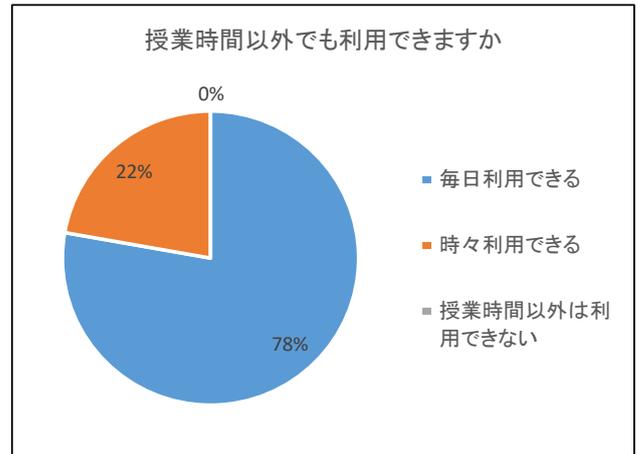
- ◎ 保育所
- ・ 栗原市の保育所・幼稚園が積極的に家庭への絵本の「貸出文庫」を推奨していけたらと願う。そのためにも、保育所や幼稚園への「図書備品」予算の要求を希望したい。
 - ・ 子どもへの「読み聞かせ」に適した地域ボランティア等の方々による「絵本の読み聞かせ」の受け入れやすい地域連携を大切にしていきたい。
 - ・ 絵本に関する講演会の開催できる工夫。
 - ・ 小学校や児童クラブ等の教員（児童に関わる職員）、保育士や保護者、将来保育にかかわる学生が参加し知識づけられるような講演講話の開催を願う。
 - ・ 気軽に図書室を利用できることを家庭にも周知できるように、健診などの場でピーアールしていく。
 - ・ 各施設で充実した図書備品が購入できるように、予算を配当する。
 - ・ 子どもが毎日自由に読んでいる絵本は、職員の物もあるので、より絵本に触れる機会を多くするために定期的に配本・寄贈本・リサイクル本の譲渡・保育所絵本購入費用をお願いしたい。
 - ・ 年間を通して、計画的に絵本を購入できるよう図書費があるとよい。
 - ・ 各地区に図書室があるとよい。また、近くに公園があると相乗効果で利用する人が増えるのではないかと思う。
 - ・ 幼稚園・保育所職員・保護者を対象にした絵本に関する講演会の開催をお願いしたい。
 - ・ 子どもが毎日自由に絵本に触れる機会。読んでもらう機会の確保のために、保育所・幼稚園の絵本購入費用をお願いしたい。
 - ・ 保育所には予算として図書費がなく、新規の絵本など購入が難しいので、予算配当や寄贈本やリサイクル本の譲渡などがあるとよい。
 - ・ 絵本が購入できるような予算をつけていただきたい。
 - ・ 絵本の選び方が分からない保護者もいるため、保護者や保育者に向けた絵本に関する講演活動を行っていただきたい。
 - ・ 保育所入所親子へ読み聞かせの講師として派遣していただきたい。
 - ・ 保育所には予算として図書費がないため、絵本などの購入が難しい。
 - ・ 予算配当や寄贈本やリサイクル本の譲渡などがあるとよい。
- ◎ 幼稚園
- ・ 保育活動や預かり保育の時間等で利用しています。とても親切に対応していただきありがとうございます。
 - ・ 親子で読書の楽しさを知るきっかけづくりになるための計画が策定できればと思います。
- ◎ 放課後児童クラブ
- ・ 本を借りに出向くのは何十冊もだと大変な労力が必要なので、ブックる号を利用したいと思います。
 - ・ 児童クラブで不要となった本など図書館へ持っていけるようになるとありがたいと思います。
 - ・ 図書館の拡充を切に願います。開館時間の見直し（閉館時間の延長）や、子供が歩いて行ける場所への開設、月に1回読書の日を設けるなど、栗原独自の試みがあるといいのではないのでしょうか。
 - ・ 読書より動画を見る機会が圧倒的に多いようなので、家庭内で大人が本を読む習慣が多くある児童とそうでない児童の格差は、クラブ内の努力だけでは埋まらないと感じる。

集計結果【(3)施設用：小学校・中学校】

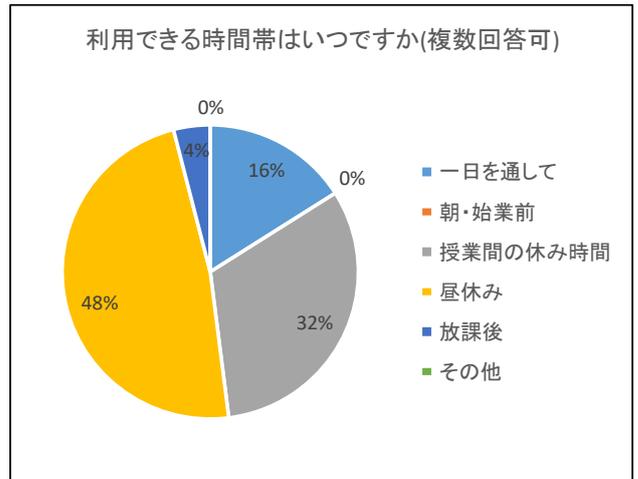
回答方法	学校数	回答率
アンケート用紙	18	100.0%
合計	18	100.0%

モニター数	回答者数	回答率
18	18	100.0%

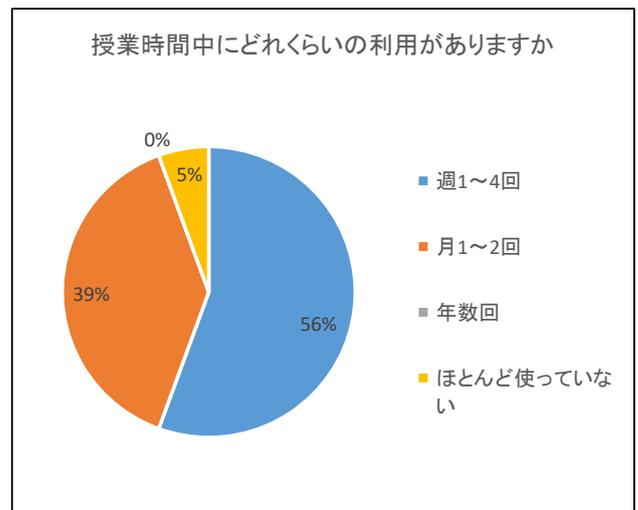
問1 学校図書館は授業時間以外でも利用できますか。	学校数	回答割合
毎日利用できる	14	77.8%
時々利用できる	4	22.2%
授業時間以外は利用できない	0	0.0%
合計	18	100.0%



問2 利用できる時間帯はいつですか(複数回答可)	学校数	回答割合
一日を通して	4	16.0%
朝・始業前	0	0.0%
授業間の休み時間	8	32.0%
昼休み	12	48.0%
放課後	1	4.0%
その他	0	0.0%
合計	25	100.0%

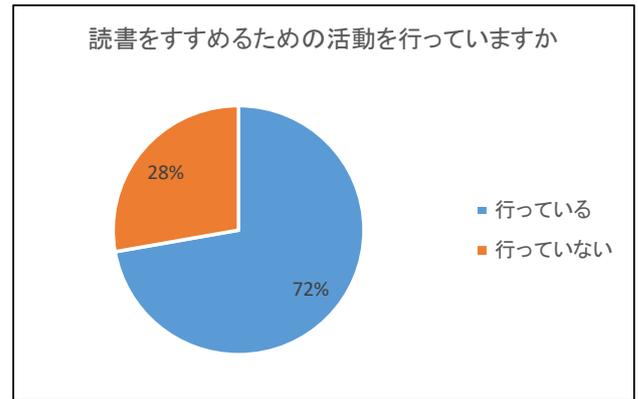


問3 授業時間中にどれくらいの利用がありますか	学校数	回答割合
週1~4回	10	55.6%
月1~2回	7	38.9%
年数回	0	0.0%
ほとんど使っていない	1	5.6%
合計	18	100.0%

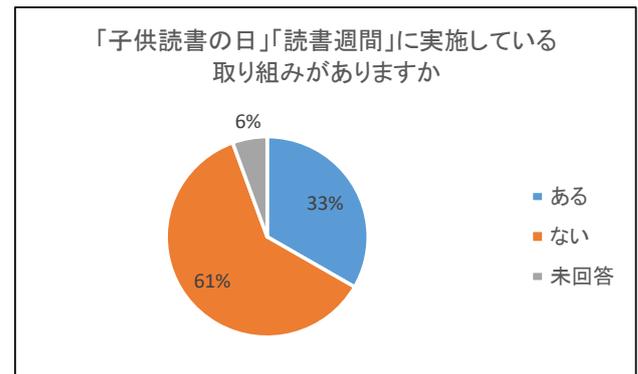


栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

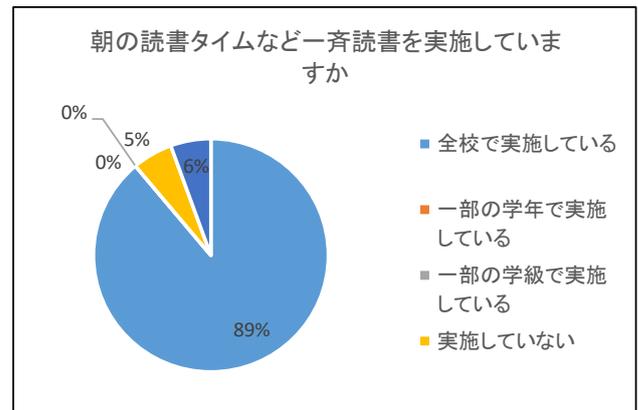
問4 読書をすすめるための活動（広報など）を行っていますか。	学校数	回答割合
行っている	13	72.2%
行っていない	5	27.8%
合計	18	100.0%



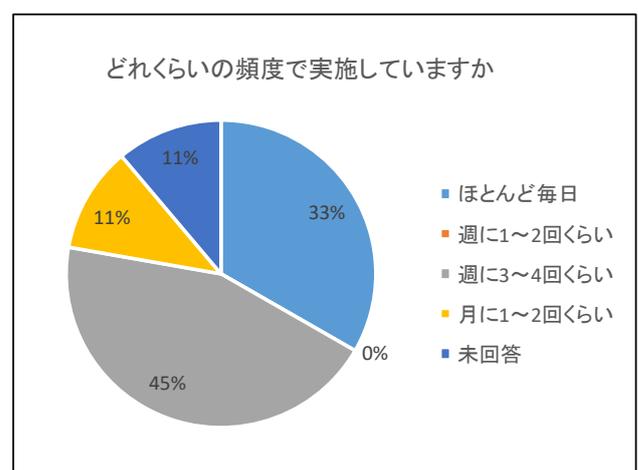
問5 「子供読書の日」や「読書週間」に実施している取り組みがありますか	学校数	回答割合
ある	6	33.3%
ない	11	61.1%
未回答	1	5.6%
合計	18	100.0%



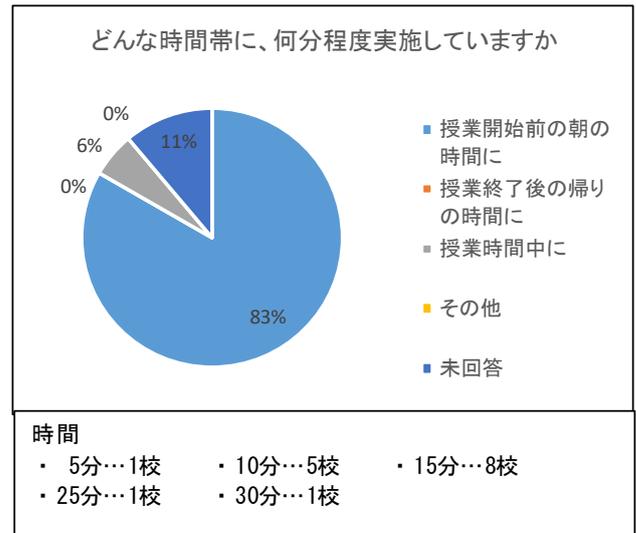
問6 朝の読書タイムなど一斉読書を実施していますか。	学校数	回答割合
全校で実施している	16	88.9%
一部の学年で実施している	0	0.0%
一部の学級で実施している	0	0.0%
実施していない	1	5.6%
未回答	1	5.6%
合計	18	100.0%



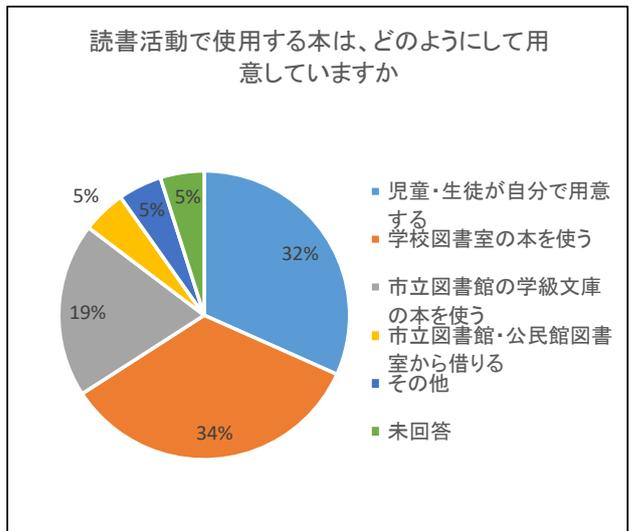
問7-①どれくらいの頻度で実施していますか	学校数	回答割合
ほとんど毎日	6	33.3%
週に1~2回くらい	0	0.0%
週に3~4回くらい	8	44.4%
月に1~2回くらい	2	11.1%
未回答	2	11.1%
合計	18	100.0%



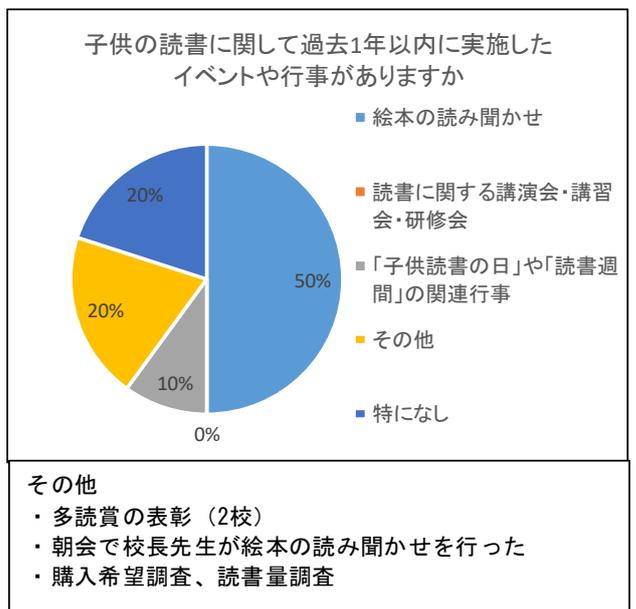
問7-②どんな時間帯に、何分程度実施していますか（複数回答可）	学校数	回答割合
授業開始前の朝の時間に	15	83.3%
授業終了後の帰りの時間に	0	0.0%
授業時間中に	1	5.6%
その他	0	0.0%
未回答	2	11.1%
合計	18	100.0%



問7-③読書活動で使用する本は、どのようにして用意していますか（複数回答可）	学校数	回答割合
児童・生徒が自分で用意する	13	31.7%
学校図書室の本を使う	14	34.1%
市立図書館の学級文庫の本を使う	8	19.5%
市立図書館・公民館図書室から借りる	2	4.9%
その他	2	4.9%
未回答	2	4.9%
合計	41	100.0%

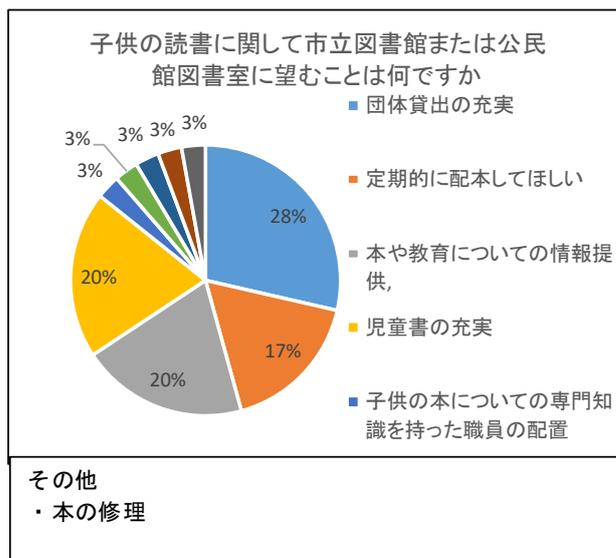


問8 子供の読書に関して過去1年以内に実施したイベントや行事がありますか（複数回答可）	学校数	回答割合
絵本の読み聞かせ	10	50.0%
読書に関する講演会・講習会・研修会	0	0.0%
「子供読書の日」や「読書週間」の関連行事	2	10.0%
その他	4	20.0%
特になし	4	20.0%
合計	20	100.0%



栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

問9 子供の読書に関して市立図書館または公民館図書室に望むことは何ですか（複数回答可）	学校数	回答割合
団体貸出の充実	10	28.6%
定期的に配本してほしい	6	17.1%
本や教育についての情報提供、	7	20.0%
児童書の充実	7	20.0%
子供の本についての専門知識を持った職員の配置	1	2.9%
図書館の利用指導やおはなし会など、学校への職員派遣	1	2.9%
子供や保護者向けの行事の充実	1	2.9%
寄贈本・リサイクル本の譲渡	1	2.9%
その他	1	2.9%
合計	35	100.0%



問10 子供の読書環境を良くするため、学校として取り組みたいこと、必要と思われることは何ですか
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが読みたいと思う本を図書室に配架する ・ 専属の司書を図書室に配置する
<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで同様、児童の読書時間の確保に努めたい。また、授業に関連するような図書購入を行い学校図書室を充実させたい。図書館からの学級文庫は、いろいろなジャンルの図書に児童が触れることができ大変助かっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 司書の常駐が望ましい。市立図書館と連携を図りながら子供たちの読書環境改善に努めたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 破損図書や内容（情報）が古くなった図書は早めに破棄し、新規図書を整備する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室の本の整備ができていない状況。分類等、機会があれば司書の方から教えていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出の機械化、図書館司書・ボランティアの配置（休み時間の担当・本の修理・本の相談）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語科の学習で使えるような配架の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の本を児童が借りたくなるように配置すること。学級文庫用の書架の整備。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語や理科、社会など学習に関連する本に触れる機会を設けていきたい。様々なジャンルの本に親しませることで、読書の幅を広げたり興味を持たせたりしていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室を整備したいのですが、本を分類に沿って並べたいと思っても、本棚の収納量やサイズの問題があり思うようにいきません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本の紹介を定期的に行い、生徒が読書に親しめるようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館司書の配置、図書の整理（適切な廃棄等）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の刷新

問11 計画策定に当たってその他のご意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校に図書館司書がいたら読書への興味関心が高まると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級文庫の貸出や、授業に関連付けた本の貸出をしていただき、助かっています。今後もよろしく願います。

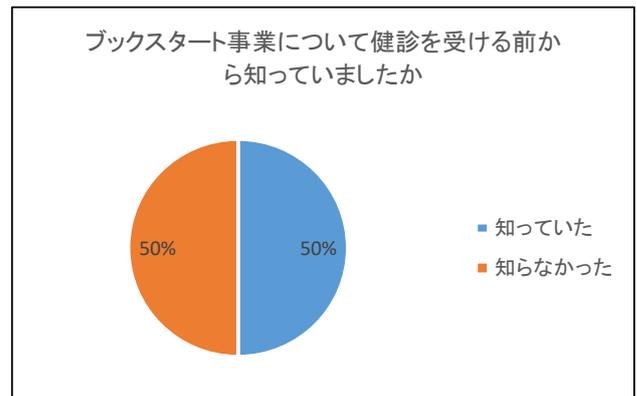
集計結果【(4)ブックスタート・セカンドブック用】

回答方法	人数	回答率
ウェブ回答	4	100.0%
合計	4	100.0%

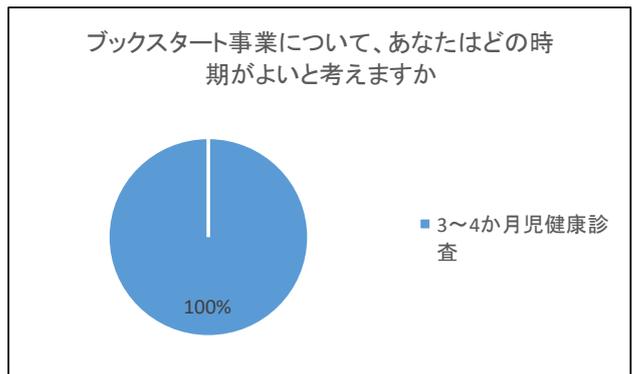
モニター数	回答者数	回答率
57	4	7.0%

※ブックスタート参加者のみ

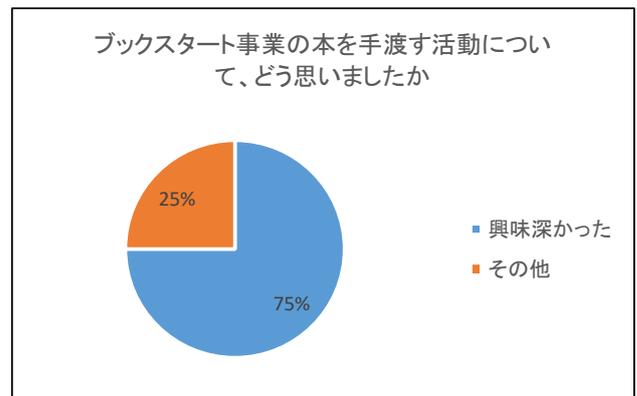
問1 あなたは、ブックスタート事業について健診を受ける前から知っていましたか	人数	回答割合
知っていた	2	50.0%
知らなかった	2	50.0%
合計	4	100.0%



問2 ブックスタート事業について、あなたはどの時期がよいと考えますか	人数	回答割合
3～4か月児健康診査	4	100.0%
合計	4	100.0%



問3 ブックスタート事業の本を手渡す活動について、どう思いましたか	人数	回答割合
興味深かった	3	75.0%
その他	1	25.0%
合計	4	100.0%

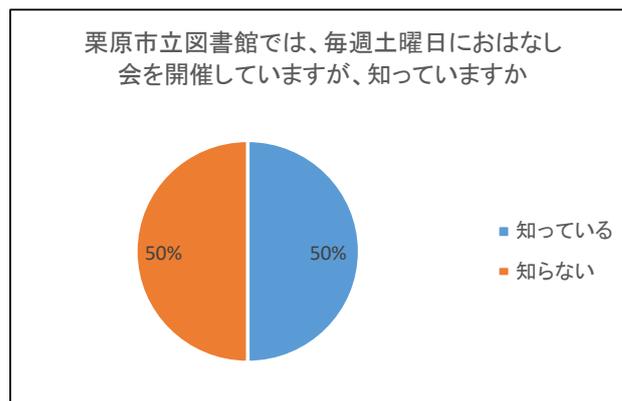


その他

・とても良い事業だと思いますが、健診等々で疲れてグズリが始まり、帰るところでのお話は落ち着いて聞くことができませんでした。保健室内（横にできる環境）での説明だと助かると思いました。

栗原市子供読書活動推進計画 令和4年8月

問4 栗原市立図書館では、毎週土曜日におはなし会を開催していますが、知っていますか	人数	回答割合
知っている	2	50.0%
知らない	2	50.0%
合計	4	100.0%



問5 あなたは、お子さんと一緒におはなし会に参加したいと思いますか	人数	回答割合
参加したい	3	75.0%
参加したいが、仕事や場所の都合で参加できない	1	25.0%
合計	4	100.0%

